

新簡易元帳 v5.0

v3.0 を 2007形式に移行したもの

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N |
|----|------------|----------|---|--------|-----------------------|---|---|--------|---|---|---|---|----------|---|
| 1 | | | | | 一ヶ月に一度の実行です。注意してください。 | | | | | | | | | |
| 2 | 現金出納簿入力へ | | | | | | | 会計名 | | | | | | |
| 3 | | | | 月次繰越作業 | | | | ひまわり協会 | | | | | 振替入力表入力へ | |
| 4 | | 残高試算表確認へ | | | | | | | | | | | 複合仕訳表入力へ | |
| 5 | | 収支決算書確認へ | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 現金出納簿印刷 | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 月次元帳一括確認印刷 | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 月次元帳個別確認印刷 | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 年分元帳個別確認印刷 | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 年分元帳一括確認印刷 | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | | | | | | | | | | | | | | |

データ移動は厳禁です。式が狂います。

月次繰越をした後で間違いがあった場合は翌月で修正仕訳をする修正方法が無難です。元帳データ修正は容易ではありませんから。

この欄は元帳個別確認印刷のとき入力してください。

印刷設定
2 直接印刷の場合は"1" プレビュー画面からの印刷は"2"

新簡易元帳v5.0
経理用ファイル
スタンプ会経理からの応用です。

小林誠一郎 メール vec04063@nifty.ne.jp
ご意見ご要望ご不満などお聞かせください。
(URL <http://sk-kobayan.la.cococan.jp/>)

毎月の元帳印刷が勿体ないと思われる場合はシート「期首残高2」を再表示させて、まとめ印刷を試してみてください。**要注意。**

目次

| | | | | | |
|-----|-----------|--------|-----------|---------------|---------|
| 005 | このソフトの使い方 | 概要説明 | ファイル構成 | | |
| 006 | | | マクロ分類 | | |
| 007 | | 手順その 1 | 手順その 2 | | |
| 009 | | 手順その 3 | 最後に | | |
| 011 | | データの流れ | | | |
| 012 | 具体的な操作方法 | 手順その 1 | 「設定表」への入力 | | |
| 013 | | | 設定表 | 勘定科目一覧表 | 摘要欄一覧表 |
| 014 | | 手順その 2 | 1 | 初期化 10 | |
| 017 | | | | 全空白出納簿0 | 全空白入力表0 |
| 018 | | | | 全空白仕訳表0 | |
| 020 | | 手順その 2 | 2 | 期首残高入力 | |
| 021 | | | | 転記期首 1 0 | |
| 024 | | 手順その 2 | 3 | 現金出納簿のデータカウント | |
| 025 | | | | 「現金出納簿」の式 | |
| 026 | | | | 「現金出納簿」の小計合計行 | |
| 027 | | | | カーソル移動制限 | |
| 028 | | | | メモ欄 | |
| 029 | | 手順その 2 | 4 | 印刷出納簿新0 | |
| 031 | | | | 「印刷出納」 | |
| 032 | | | | 入力表示例 | |
| 035 | | | | 「振替入力表」の入力と印刷 | |
| 036 | | | | 印刷入力表新0 | |
| 037 | | | | 「印刷振替 1」 | |

| | | | | | |
|-----|--------|------|--------------------|------------|------------|
| 038 | | | 「複合仕訳表」の入力と印刷 | | |
| 039 | | | 印刷仕訳表新() | | 複合仕訳表印刷 |
| 040 | 手順その 2 | 5 | 月次元帳印刷 | | |
| 041 | | | 月次元帳一括() | 月次処理新() | 月次元帳一括確認印刷 |
| 043 | | | 月次処理新の内容は | | |
| 044 | | | 全空白元帳用() | | |
| 046 | | | シート「元帳月次」 | | |
| 047 | | | 月次出納簿転記() | | |
| 049 | | | 月次入力簿転記() | | |
| 052 | | | シート「振替入力簿」 | 月次複合表転記() | |
| 056 | | | シート「作業表 3」 | シート「複合仕訳表」 | |
| 057 | | | 月次並替() | | |
| 058 | | | 月次印刷元帳連続新() | | |
| 061 | | | 科目選択(表名 1,表名 2,科目) | | |
| 062 | | | 式入力(表名,科目) | | |
| 065 | | | 集計開始() | 月計算出() | 印刷元帳新 2() |
| 067 | | | 集計解除() | | |
| 068 | | | 全空白試算表() | 全空白予算() | |
| 069 | | | 月次元帳個別() | 月次処理 3 新() | 月次元帳一括確認印刷 |
| 071 | | | 月次印刷元帳個別新() | | |
| 073 | | | 印刷元帳新 2() | | |
| 076 | 手順その 2 | 6, 7 | 月次繰越 1 () | | 月次繰越作業 |
| 077 | | | 印刷月次分() | | |
| 079 | | | 試算表転記() | 試算表転記 2() | |
| 080 | | | 出納簿転記新() | | |

081 印刷元帳連続新()

084 印刷元帳新 1 (勘定科目)

087 印刷元帳個別新()

年分元帳一括確認印刷

年分元帳個別確認印刷

092 作業用 開く A()

094 開く B()

096 印刷設定() 登録()

097 AUTO_OPEN() 元に戻る() go 出納簿()

098 表移動 go 入力簿() go 入力表() go 仕訳表()

099 go 期首残高() go 残高試算表() go 元帳()

100 go 説明書() go 設定表()

101 go 決算書() go 合計表()

102 go ボタン表() go 利用方法()

103 これはおまけです うらない()

105 シート「期首残高 2」

疲れた時は？

106 クリア() 転記期首 2()

データクリア 転記ボタン

108 go 合計表() 印刷元帳連続新 2()

元帳データ修正 作業開始

112 バージョンアップ用 転記全部()

データ転記ボタン
各勘定科目
期首データ
元帳データ

出納簿は転記しません。
入力表は転記しません。
仕訳表は転記しません。

このソフトの使い方

簡易元帳 v5.0

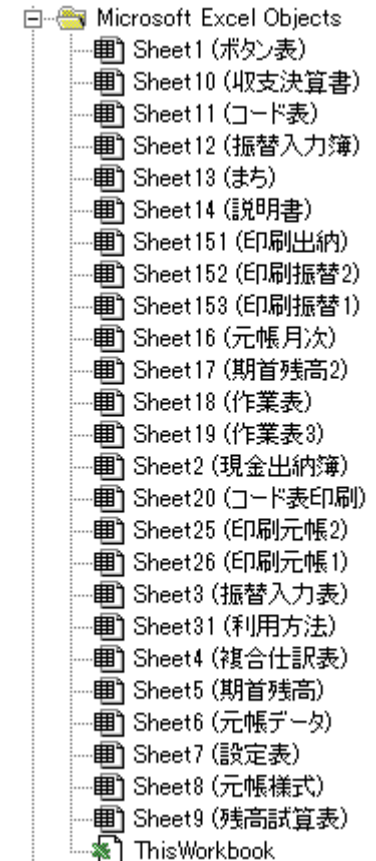
振替データは単一仕訳と複合仕訳の2画面があります。入力に惑わないように。

ファイルの構成は次のとおりです。

| | |
|----------|---|
| ボタン表 | メニュー画面です。 |
| 現金出納簿 | ここで経理のデータ入力をするようになります。 |
| 振替入力簿 | 単一仕訳 この画面では入力しない。 |
| 振替入力表 | 単一仕訳 この画面で入力をする（ここから振替入力簿にデータを渡す方法に変更）。 |
| 複合仕訳表 | 複合仕訳 |
| 設定表 | 勘定科目、摘要欄、開始月の基本的な設定を行います。 |
| 説明書 | このシートです。 |
| 利用方法 | 振替データの説明です。 |
| 残高試算表 | 名前のとおりです。 |
| 収支決算書 | 名前のとおりです。 |
| 期首残高 | 名前のとおりです。 |
| 期首残高2 | 元帳の途中打ち出し用です。 |
| 元帳データ | 全てのデータはここに集められます。 |
| 元帳月次 | 毎月の元帳を作成するときにここにデータを集めます。 |
| まち | 作業をするときの表示をこれにします。 |
| コード表 | 設定表から引用 |
| されるものです。 | |
| 作業表 | 印刷用のデータをここで整えます。 |
| 作業表 3 | 現金出納簿等の並べ替えに使用します。 |

印刷用

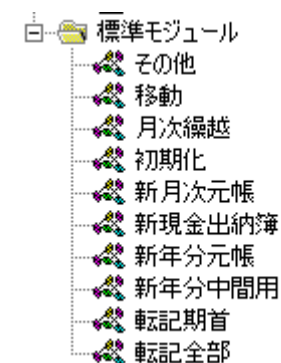
印刷元帳 1 帳票打ち出し用のシート データは作業表から



| | | |
|--------|-------------|-------------|
| 印刷元帳 2 | 帳票打ち出し用のシート | データは作業表から |
| 印刷出納 | 帳票打ち出し用のシート | データは現金出納簿から |
| 印刷振替 1 | 帳票打ち出し用のシート | データは振替入力簿から |
| 印刷振替 2 | 帳票打ち出し用のシート | データは振替入力表から |
| コード表印刷 | 帳票打ち出し用のシート | データは設定表から |

自動実行用のマクロを作業毎に分類してあります。

| | |
|-----------------------------|------------------------|
| その他 | その他。 |
| 移動 | 表の移動。 |
| 月次繰越 | 出納簿等 |
| データを元帳データへ転記、その後クリアなど。繰越処理。 | |
| 初期化 | 利用開始時のデータの消去。 |
| 転記期首 | 期首残高の転記。 |
| 転記全部 | バージョンアップ用の全部転記。 |
| 新月次元帳 | 月次元帳の作成。 |
| 新現金出納簿 | 現金出納簿、振替入力簿の印刷や並べ替えなど。 |
| 新年分元帳 | 年分元帳の作成。 |
| 新年分中間用 | 年分元帳の途中からの作成。まとめ印刷 |



ボタン表と「現金出納簿」、「振替入力表」、「複合仕訳表」以外の表はすべて非表示にしています。これらを表示するためには、リボンの {ホーム} {書式} {表示設定} {シートの再表示} としてください。シートには保護をかけているのもあり、これを解除するときは {校閲} {シート保護の解除}。パスワードは設定していませんので、すぐ解除できます。

解除して遊んだ後での不具合については、ご自身での責任ですよ。(*^_^)

手順その1

最初は「設定表」への入力です。

どのシートでも同じですが、入力可能なところはセルの背景を黄色にしています。

メニュー画面には各種作業指示ボタンと注意書きのメモがあります。読んでください。

またあちこちのシートへと移動した時にも、注意書がおいてあります。読んでください。

「設定表」では、経理の勘定科目、摘要欄の入力をします。

勘定科目数は変更できません。使用しない科目のセルは空白にしてください。

資産勘定 21 負債勘定 14 収入勘定 3 支出勘定 27 その他 4 科目数計 69

「現金」「貸倒戻入益」「貸倒繰入損」「当期損益」は変更できません。

摘要欄もすべてコード入力です。

手順その2

1 全データの初期化を行います。

2 期首残高の入力をします。特別な注意はないです。どのシートでも同じですが入力可能なところは、セルの背景を黄色にしています。

ここからが日常の業務になります。

3 日常のデータ入力。現金出納簿をきちんと入力すること。これだけです。U列に注意があります。

現金出納簿は12ページあります。月間データ件数は600件になります。年間では最大8000件までとしています。

振替入力表と複合仕訳表を加えました。月間150件と30件で、現金データで換算すると300件と100件。

年間処理件数は8000件までという部分は変更していません。

4 1ヶ月分を入力したら現金出納簿を印刷します。もちろん印刷の前に残高試算表、収支決算書が正しいことを画面上で確認しておいてください。

振替入力表、複合仕訳表も忘れないで印刷してください。

「現金出納簿」画面のN列からの説明を下に加えます。

現金出納簿の使い方

繰越現金は セル K2 の欄に入力してください。

このシートで入力できる場所は黄色の部分だけです。いつでも入力確認ができます。入出金の判断は自動ではしません。

ご自分で選択してください。入力された時点での試算表・決算書はいつでも確認と印刷が可能です。

*データの取り消しはスペースではないこと。見た目にはなにも無いですが、空白データがあります。クリアや DEL キーで消してください。

*月次繰越をすると出納簿等のデータは「元帳データ」へと保存されます。

*摘要欄もコード入力になります。ここでの自由入力は一切出来ません。必要な物はあらかじめ「設定表」で作っておいてください。

また何時でも追加変更修正は可能ですから、思いつく度に増やしていても良いでしょう。

*データのあるなしを科目のコード欄でチェックしています。年月日コードが全て入力されていないといけません。

ご注意を！省略すれば帳簿の作成は不可能です。ご注意を！データの移動は厳禁です。式が狂います。行や列の挿入削除も厳禁です。

5 「現金出納簿」と「振替入力表」と「複合仕訳表」に間違いがなければその月の元帳の確認印刷です。

元帳印刷をしたあとで間違いに気づいたら、出納簿等の修正をし、その後また印刷が必要です。

直接印刷する前にプレビューで確認が出来ます。印刷設定で指定してください。

6 以上の作業で間違いのないことを確認したら、「月次繰越作業」で一区切りです。

7 月次繰越作業をしたあとで間違いに気づいたら、メニュー画面にあるように翌月で修正仕訳をしてください。どうしてもそれではいやという場合は {元帳データへ} から修正をしてください。

「元帳データ」画面のR列からの説明を下に加えます。

元帳の修正の方法

この画面では一切のチェックはありません。単なるシートです。以後行う作業の責任は全てあなたにあります。

コードで集計印刷をするので、一番注意してください。残高は作成時に計算しますので、データを正しく修正すれば元帳は正しいものが出来ます。

出納簿や試算表は手書で訂正するか、もう一度当該月分の出納簿分を入力し、残高試算表の残高を戻して改めて印刷する必要があります。

そのデータは、試算表の残高繰越をしたあと転記をせずに消去してください。ややこしいですね。出来ればここでの修正はしないでください。

翌月に修正仕訳をすればすむことですから。

以上が経理の流れであとは繰り返しになります。元帳の画面上での確認やまとめたの印刷をすることはいつでもできます。月次繰越をしたデータが対象で期中の1ヶ月分だけとかはできません。期首から今まで繰越処理した全ての月の分が表示（印刷）できます。年分元帳印刷の中間印刷も作りました。

印刷上の注意について

パソコンやプリンタの違いにより、うまく印刷されない場合があるかも知れません。そのような時は、印刷のプレビューをみながら、余白の調整をすることで解決できると思います。

手順その3

年度更新作業について

一年分の元帳の印刷は終わりましたか。

- 1 年度の作業がすべて終了したら、いったん作業を終了しエクセルも終了します。
- 2 そして改めてこの経理ファイルを開きます。（気持ちを新たにす意味）
- 3 {ファイル} {名前をつけて保存} をクリックし、別の新しい名前をつけて保存します。
- 4 作業終了をします。
- 5 経理ファイルを開きます。（従前から利用しているもの）
- 6 データ全初期化をします。（資産負債の期末から期首への変換などはありません）
新規入力が可能となります。

最後に

平成13年3月修正版のスタンプ会経理のV3.0Bを修正したものです。

V1.1 平成15年10月小林誠一郎（Email VEQ04063@nifty.ne.jp） 鹿児島県

V1.2 平成15年11月ボタン表にある、科目指定でINDEXで参照している 範囲が 不正だった。

49科目のもので、68 に増やすため、修正。

(非表示シートの「コード表」)

出納簿の科目入力時エラーのメッセージ変更。

月次元帳印刷で、科目コードが50を超える場合に繰越金額が入らない不具合を修正した。

マクロの修正が1箇所、不完全だった。

V1.3 平成16年6月出納簿、元帳の印刷形式を変更。

V1.4 平成17年12月 月次個別元帳確認印刷でデータが無い場合はメッセージを出す。

V1.5 平成18年4月 出納簿入力時にカーソル移動制限追加。また、このON OFFもセット。メモ欄を課税非課税表示に活用。(消費税用) 年度途中での元帳まとめ印刷部分を追加した。

V1.6 平成18年5月 「利用方法」を加えた。

V1.7 平成18年10月 V1.6シート 「現金出納簿」の保護とセル59行ABCDの色が消えていた

V2.0 平成19年5月 振替伝票が入力できるようにした。マクロの整理もし、わかりやすくした。その他、いろいろな部分の説明なども変更した。

V2.1 平成19年5月マクロの修正に 編集 変換 を利用していたら想定外のところも変換されて、元帳がおかしくなっていた部分を修正した。
「振替入力簿」の並替をページ単位とし、振替データの印刷形式を変更した。

V2.2 平成19年6月 振替データの印刷形式の残高表示を変更した。

V2.3 平成19年9月 印刷形式1、2を一部修正。

V2.5 平成21年2月 振替データの入力方法の改善。2行入力を1行に整理。複合仕訳も要望が強かったので、何とかいれてみた。

年月の入力方法の改善、これで帳簿作成の不具合が少なくなると思う。マクロも以上の変化に伴う部分は勿論ですが、その他説明や細かな部分にも手を加えた。

データの削除は間違いの基と説明をしています。「元帳データ」のカウントをセルO13に設定していますが、作成時の限度行の8001行のつもりでしたが、7769になっていた。どこかの時点で行を削除したことがある。多くのデータがなかったので、致命的なエラーにはならなかったが、こんなことがどこかにあるかも知れない。注意してくださいね。

V5.0 平成30年3月 新形式に変更(XLSM形式)。説明書作成。併せて説明文を修正。

<http://sk-kobayan.la.coocan.jp/>

データの流れ

データは「現金出納簿」「振替入力表」「複合仕訳表」に入力します。そのシートを集計して、「残高試算表」と「支決算書」を作成します。

月次繰越をするとデータはシート「元帳データ」に順次、累積保存されます。「現金出納簿」「振替入力表」「複合仕訳表」は翌月の入力のためクリアされます。

月次元帳は「残高試算表」と「現金出納簿」「振替入力簿」「複合仕訳表」から計算出力します。年次元帳は「元帳データ」から計算出力します。

印刷帳票は作業表に集約してから、印刷形式を選択して出力します。

印刷用

| | | | |
|--------|---------------|---------------|----------|
| 印刷元帳 1 | 帳票打ち出し用のシート | データは「作業表」から | 元帳一括確認印刷 |
| 印刷元帳 2 | 帳票打ち出し用のシート | データは「作業表」から | 元帳個別確認印刷 |
| 印刷出納 | 帳票打ち出し用のシート | データは「現金出納簿」から | |
| 印刷振替 1 | 帳票打ち出し用のシート | データは「振替入力表」から | |
| 印刷振替 2 | 帳票打ち出し用のシート | データは「複合仕訳表」から | |
| コード表印刷 | コード表打ち出し用のシート | データは「設定表」から | |

具体的な操作方法

手順その1

最初は「設定表」への入力です。

| | A | B | C | D | E |
|----|-----|----------|---|------|--------------------------------|
| 1 | | | | | |
| 2 | | 勘定科目一覧表、 | | | 勘定科目と摘要欄の入力です。黄色のセルの部分が入力可能です。 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | 収入の部 | | 支出の部 | |
| 5 | | | | | |
| 6 | コード | 科目 | | コード | 科目 |
| 7 | 36 | 売上 | | 39 | 仕入 |
| 8 | 37 | 自家消費 | | 40 | 租税公課 |
| 9 | 38 | 雑収入 | | 41 | 荷造運賃 |
| 10 | | | | 42 | 水道光熱費 |
| 11 | | | | 43 | 旅費交通費 |
| 12 | | 資産の部 | | 44 | 通信費 |
| 13 | | | | 45 | 広告宣伝費 |
| 14 | コード | 科目 | | 46 | 接待交際費 |
| 15 | 1 | 現金 | | 47 | 損害保険料 |
| 16 | 2 | 当座預金 | | 48 | 修繕費 |

| | |
|------|----|
| 資産勘定 | 21 |
| 負債勘定 | 14 |
| 収入勘定 | 3 |
| 支出勘定 | 27 |
| その他 | 4 |
| 科目数計 | 69 |

上記の勘定科目数は変更できません。現金、貸倒戻入益、貸倒繰入損、当期損益の名称変更はできません。

摘要欄もすべてコード入力です。

| 輸定科目一覧表 | | | 輸振替一覧表 | | | 輸振替一覧表 | | | |
|---------|----|------|--------|------|----|--------|----|------|----|
| 取入の席 | | 支出の席 | | MEMO | | 取入の席 | | 支出の席 | |
| コード | 科目 | コード | 科目 | コード | 科目 | コード | 科目 | コード | 科目 |
| 01 | 仕入 | 01 | 仕入 | 01 | 仕入 | 01 | 仕入 | 01 | 仕入 |
| 02 | 仕入 | 02 | 仕入 | 02 | 仕入 | 02 | 仕入 | 02 | 仕入 |
| 03 | 仕入 | 03 | 仕入 | 03 | 仕入 | 03 | 仕入 | 03 | 仕入 |
| 04 | 仕入 | 04 | 仕入 | 04 | 仕入 | 04 | 仕入 | 04 | 仕入 |
| 05 | 仕入 | 05 | 仕入 | 05 | 仕入 | 05 | 仕入 | 05 | 仕入 |
| 06 | 仕入 | 06 | 仕入 | 06 | 仕入 | 06 | 仕入 | 06 | 仕入 |
| 07 | 仕入 | 07 | 仕入 | 07 | 仕入 | 07 | 仕入 | 07 | 仕入 |
| 08 | 仕入 | 08 | 仕入 | 08 | 仕入 | 08 | 仕入 | 08 | 仕入 |
| 09 | 仕入 | 09 | 仕入 | 09 | 仕入 | 09 | 仕入 | 09 | 仕入 |
| 10 | 仕入 | 10 | 仕入 | 10 | 仕入 | 10 | 仕入 | 10 | 仕入 |
| 11 | 仕入 | 11 | 仕入 | 11 | 仕入 | 11 | 仕入 | 11 | 仕入 |
| 12 | 仕入 | 12 | 仕入 | 12 | 仕入 | 12 | 仕入 | 12 | 仕入 |
| 13 | 仕入 | 13 | 仕入 | 13 | 仕入 | 13 | 仕入 | 13 | 仕入 |
| 14 | 仕入 | 14 | 仕入 | 14 | 仕入 | 14 | 仕入 | 14 | 仕入 |
| 15 | 仕入 | 15 | 仕入 | 15 | 仕入 | 15 | 仕入 | 15 | 仕入 |
| 16 | 仕入 | 16 | 仕入 | 16 | 仕入 | 16 | 仕入 | 16 | 仕入 |
| 17 | 仕入 | 17 | 仕入 | 17 | 仕入 | 17 | 仕入 | 17 | 仕入 |
| 18 | 仕入 | 18 | 仕入 | 18 | 仕入 | 18 | 仕入 | 18 | 仕入 |
| 19 | 仕入 | 19 | 仕入 | 19 | 仕入 | 19 | 仕入 | 19 | 仕入 |
| 20 | 仕入 | 20 | 仕入 | 20 | 仕入 | 20 | 仕入 | 20 | 仕入 |
| 21 | 仕入 | 21 | 仕入 | 21 | 仕入 | 21 | 仕入 | 21 | 仕入 |
| 22 | 仕入 | 22 | 仕入 | 22 | 仕入 | 22 | 仕入 | 22 | 仕入 |
| 23 | 仕入 | 23 | 仕入 | 23 | 仕入 | 23 | 仕入 | 23 | 仕入 |
| 24 | 仕入 | 24 | 仕入 | 24 | 仕入 | 24 | 仕入 | 24 | 仕入 |
| 25 | 仕入 | 25 | 仕入 | 25 | 仕入 | 25 | 仕入 | 25 | 仕入 |
| 26 | 仕入 | 26 | 仕入 | 26 | 仕入 | 26 | 仕入 | 26 | 仕入 |
| 27 | 仕入 | 27 | 仕入 | 27 | 仕入 | 27 | 仕入 | 27 | 仕入 |
| 28 | 仕入 | 28 | 仕入 | 28 | 仕入 | 28 | 仕入 | 28 | 仕入 |
| 29 | 仕入 | 29 | 仕入 | 29 | 仕入 | 29 | 仕入 | 29 | 仕入 |
| 30 | 仕入 | 30 | 仕入 | 30 | 仕入 | 30 | 仕入 | 30 | 仕入 |
| 31 | 仕入 | 31 | 仕入 | 31 | 仕入 | 31 | 仕入 | 31 | 仕入 |
| 32 | 仕入 | 32 | 仕入 | 32 | 仕入 | 32 | 仕入 | 32 | 仕入 |
| 33 | 仕入 | 33 | 仕入 | 33 | 仕入 | 33 | 仕入 | 33 | 仕入 |
| 34 | 仕入 | 34 | 仕入 | 34 | 仕入 | 34 | 仕入 | 34 | 仕入 |
| 35 | 仕入 | 35 | 仕入 | 35 | 仕入 | 35 | 仕入 | 35 | 仕入 |
| 36 | 仕入 | 36 | 仕入 | 36 | 仕入 | 36 | 仕入 | 36 | 仕入 |
| 37 | 仕入 | 37 | 仕入 | 37 | 仕入 | 37 | 仕入 | 37 | 仕入 |
| 38 | 仕入 | 38 | 仕入 | 38 | 仕入 | 38 | 仕入 | 38 | 仕入 |
| 39 | 仕入 | 39 | 仕入 | 39 | 仕入 | 39 | 仕入 | 39 | 仕入 |
| 40 | 仕入 | 40 | 仕入 | 40 | 仕入 | 40 | 仕入 | 40 | 仕入 |
| 41 | 仕入 | 41 | 仕入 | 41 | 仕入 | 41 | 仕入 | 41 | 仕入 |
| 42 | 仕入 | 42 | 仕入 | 42 | 仕入 | 42 | 仕入 | 42 | 仕入 |
| 43 | 仕入 | 43 | 仕入 | 43 | 仕入 | 43 | 仕入 | 43 | 仕入 |
| 44 | 仕入 | 44 | 仕入 | 44 | 仕入 | 44 | 仕入 | 44 | 仕入 |
| 45 | 仕入 | 45 | 仕入 | 45 | 仕入 | 45 | 仕入 | 45 | 仕入 |
| 46 | 仕入 | 46 | 仕入 | 46 | 仕入 | 46 | 仕入 | 46 | 仕入 |
| 47 | 仕入 | 47 | 仕入 | 47 | 仕入 | 47 | 仕入 | 47 | 仕入 |
| 48 | 仕入 | 48 | 仕入 | 48 | 仕入 | 48 | 仕入 | 48 | 仕入 |
| 49 | 仕入 | 49 | 仕入 | 49 | 仕入 | 49 | 仕入 | 49 | 仕入 |
| 50 | 仕入 | 50 | 仕入 | 50 | 仕入 | 50 | 仕入 | 50 | 仕入 |
| 51 | 仕入 | 51 | 仕入 | 51 | 仕入 | 51 | 仕入 | 51 | 仕入 |
| 52 | 仕入 | 52 | 仕入 | 52 | 仕入 | 52 | 仕入 | 52 | 仕入 |
| 53 | 仕入 | 53 | 仕入 | 53 | 仕入 | 53 | 仕入 | 53 | 仕入 |
| 54 | 仕入 | 54 | 仕入 | 54 | 仕入 | 54 | 仕入 | 54 | 仕入 |
| 55 | 仕入 | 55 | 仕入 | 55 | 仕入 | 55 | 仕入 | 55 | 仕入 |
| 56 | 仕入 | 56 | 仕入 | 56 | 仕入 | 56 | 仕入 | 56 | 仕入 |
| 57 | 仕入 | 57 | 仕入 | 57 | 仕入 | 57 | 仕入 | 57 | 仕入 |
| 58 | 仕入 | 58 | 仕入 | 58 | 仕入 | 58 | 仕入 | 58 | 仕入 |
| 59 | 仕入 | 59 | 仕入 | 59 | 仕入 | 59 | 仕入 | 59 | 仕入 |
| 60 | 仕入 | 60 | 仕入 | 60 | 仕入 | 60 | 仕入 | 60 | 仕入 |
| 61 | 仕入 | 61 | 仕入 | 61 | 仕入 | 61 | 仕入 | 61 | 仕入 |
| 62 | 仕入 | 62 | 仕入 | 62 | 仕入 | 62 | 仕入 | 62 | 仕入 |
| 63 | 仕入 | 63 | 仕入 | 63 | 仕入 | 63 | 仕入 | 63 | 仕入 |
| 64 | 仕入 | 64 | 仕入 | 64 | 仕入 | 64 | 仕入 | 64 | 仕入 |
| 65 | 仕入 | 65 | 仕入 | 65 | 仕入 | 65 | 仕入 | 65 | 仕入 |
| 66 | 仕入 | 66 | 仕入 | 66 | 仕入 | 66 | 仕入 | 66 | 仕入 |
| 67 | 仕入 | 67 | 仕入 | 67 | 仕入 | 67 | 仕入 | 67 | 仕入 |
| 68 | 仕入 | 68 | 仕入 | 68 | 仕入 | 68 | 仕入 | 68 | 仕入 |
| 69 | 仕入 | 69 | 仕入 | 69 | 仕入 | 69 | 仕入 | 69 | 仕入 |

ここに入力されたデータはシート「コード表」に集約されます。「コード表」に {科目名} と {摘要名} の範囲を設定しています。

{科目名} =コード表!\$A\$1:\$B\$68 {摘要名} =コード表!\$E\$1:\$F\$300

現金出納簿のコード入力から、科目・摘要を参照入力します。

「現金出納簿」の参照式の設定 E列 G列 A列 B列は年月の入力を容易にするため。K列は現金残高の計算式。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|----|--------------------|--------------------|---|-----|--|------|--|----|----|----|-------------------------------------|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 入金 | 出金 | 残高 |
| 2 | | | | 繰越 | P1 | | | | | | |
| 3 | | | | | =IF(D3="","",LOOKUP(D3,科目名,2,FALSE)) | | =IF(F3="","",LOOKUP(F3,摘要名,2,FALSE)) | | | | =IF(AND(I3=0,J3=0),"",K2+I3-J3) |
| 4 | =IF(C4="","",A4) | =IF(C4="","",B4) | | | =IF(D4="","",LOOKUP(D4,科目名,2,FALSE)) | | =IF(F4="","",LOOKUP(F4,摘要名,2,FALSE)) | | | | =IF(AND(I4=0,J4=0),"",K3+I4-J4) |
| 5 | =IF(C5="","",A5) | =IF(C5="","",B5) | | | =IF(D5="","",LOOKUP(D5,科目名,2,FALSE)) | | =IF(F5="","",LOOKUP(F5,摘要名,2,FALSE)) | | | | =IF(AND(I5=0,J5=0),"",K4+I5-J5) |
| 6 | =IF(C6="","",A6) | =IF(C6="","",B6) | | | =IF(D6="","",LOOKUP(D6,科目名,2,FALSE)) | | =IF(F6="","",LOOKUP(F6,摘要名,2,FALSE)) | | | | =IF(AND(I6=0,J6=0),"",K5+I6-J6) |
| 7 | =IF(C7="","",A7) | =IF(C7="","",B7) | | | =IF(D7="","",LOOKUP(D7,科目名,2,FALSE)) | | =IF(F7="","",LOOKUP(F7,摘要名,2,FALSE)) | | | | =IF(AND(I7=0,J7=0),"",K6+I7-J7) |
| 8 | =IF(C8="","",A8) | =IF(C8="","",B8) | | | =IF(D8="","",LOOKUP(D8,科目名,2,FALSE)) | | =IF(F8="","",LOOKUP(F8,摘要名,2,FALSE)) | | | | =IF(AND(I8=0,J8=0),"",K7+I8-J8) |
| 9 | =IF(C9="","",A9) | =IF(C9="","",B9) | | | =IF(D9="","",LOOKUP(D9,科目名,2,FALSE)) | | =IF(F9="","",LOOKUP(F9,摘要名,2,FALSE)) | | | | =IF(AND(I9=0,J9=0),"",K8+I9-J9) |
| 10 | =IF(C10="","",A10) | =IF(C10="","",B10) | | | =IF(D10="","",LOOKUP(D10,科目名,2,FALSE)) | | =IF(F10="","",LOOKUP(F10,摘要名,2,FALSE)) | | | | =IF(AND(I10=0,J10=0),"",K9+I10-J10) |

手順その2

- 1 全データの初期化を行います。

ファイルを利用するまえに 全データ初期化 を実施します。

シート「現金出納簿」「振替入力表」「複合仕訳表」「収支決算書」「元帳データ」「残高試算表」「期首残高」のすべてのデータを消去します。

全データ初期化

Sub 初期化 10

```
If MsgBox(prompt:="全ての年次データを消去します。", _
    Title:="準備確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
    MsgBox "大丈夫ですか。念のため、別名で保存はしましたか。次でキャンセル可能。"
    If MsgBox(prompt:="もうもとははもどれませんよ！年次繰越はありません。", _
        Title:="全ての年次データ消去, 再度確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
```

```
Sheets("まち").Visible = True
```

```
Sheets("まち").Select
```

```

Application.ScreenUpdating = True
Application.Wait Time:=Now + TimeValue("00:00:02")
Application.ScreenUpdating = False
Sheets("収支決算書").Visible = True
Sheets("元帳データ").Visible = True
Sheets("残高試算表").Visible = True
Sheets("期首残高").Visible = True
Sheets("現金出納簿").Select
全空白出納簿
Range("A1").Select
Sheets("振替入力表").Select
全空白入力表
Range("A1").Select
Sheets("複合仕訳表").Select
ActiveSheet.Unprotect
全空白仕訳表
ActiveSheet.Protect
Range("A1").Select
Sheets("収支決算書").Select
Range("D5:D7,D12:D40").Select
Selection.ClearContents
Range("A1").Select
Sheets("元帳データ").Select
Range("A2:K8001").Select
Selection.Clear

```

'この行と下の行は まち を表示させるため追加 2016/5
'---2 秒間停止
'作業をする表をすべて再表示
'現金出納簿をクリア
'振替入力表をクリア
'複合仕訳表をクリア
'カーソルを定位置にセット
'元帳データ
'データは 8000 行以上はないとしている

MsgBox 関数は、ダイアログボックスにメッセージとボタンを表示し、どのボタンが押されたかを示す整数型の数値を返す。

| | |
|---------------|--------------------------|
| vbOKOnly | [OK]ボタンのみを表示 |
| vbOKCancel | [OK]、[キャンセル]ボタンを表示 |
| vbYesNoCancel | [はい]、[いいえ]、[キャンセル]ボタンを表示 |
| vbYesNo | [はい]、[いいえ]ボタンを表示 |

```

Range("A1").Select
Sheets("残高試算表").Select
ActiveSheet.Unprotect
Range("D6:E73").Select      '残高試算表 前月残高
Selection.ClearContents
ActiveSheet.Protect
Range("A1").Select
Sheets("期首残高").Select
ActiveSheet.Unprotect
Range("A2").Select          '年
Selection.ClearContents
Range("I2:J36").Select      '期首残高 I2:J36
Selection.ClearContents
Range("A1").Select
Cells(43, 4) = ""           'セル D43 を 無 にする      'セル E43 に転記未転記表示
ActiveSheet.Protect
Sheets("収支決算書").Visible = False      '作業終了後の表をすべて非表示
Sheets("元帳データ").Visible = False
Sheets("残高試算表").Visible = False
Sheets("期首残高").Visible = False
Sheets("まち").Visible = False
End If
End If
Application.ScreenUpdating = True
Sheets("ボタン表").Select

```



```
Range("A1").Select
End Sub
```

' 現金出納簿のデータを消去します

```
Sub 全空白出納簿()
```

```
Application.ScreenUpdating = False
```

```
Dim P As Integer
```

```
Range("A3,B3,K2").Select
```

```
Selection.ClearContents
```

```
For P = 3 To 619 Step 56
```

```
Range("C" & P & ":" & "D" & P + 49).Select
```

```
Selection.ClearContents
```

```
Range("F" & P & ":" & "F" & P + 49).Select
```

```
Selection.ClearContents
```

```
Range("H" & P & ":" & "J" & P + 49).Select
```

```
Selection.ClearContents
```

```
Next P
```

```
Range("A1").Select
```

```
End Sub
```

' 振替入力表のデータを消去します

' 全空白入力簿の一部を利用 2009/2

```
Sub 全空白入力表()
```

```
Application.ScreenUpdating = False
```

```
Dim P As Integer
```

画面上の動きを表示しない

'年、月、繰越金をクリア

'1 2 ページ分を順次クリア

'ひとつずつなら次のページを。

| 1 | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|----|---|---|---|-----|------|-----|----|---|----|----|----|
| 2 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード | 摘要 | 元 | 入金 | 出金 | 残高 |
| 3 | | | | 繰越 | 01 | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | | |
| 18 | | | | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | | | | |
| 22 | | | | | | | | | | | |
| 23 | | | | | | | | | | | |
| 24 | | | | | | | | | | | |
| 25 | | | | | | | | | | | |
| 26 | | | | | | | | | | | |
| 27 | | | | | | | | | | | |
| 28 | | | | | | | | | | | |
| 29 | | | | | | | | | | | |
| 30 | | | | | | | | | | | |
| 31 | | | | | | | | | | | |
| 32 | | | | | | | | | | | |
| 33 | | | | | | | | | | | |
| 34 | | | | | | | | | | | |
| 35 | | | | | | | | | | | |
| 36 | | | | | | | | | | | |
| 37 | | | | | | | | | | | |
| 38 | | | | | | | | | | | |
| 39 | | | | | | | | | | | |
| 40 | | | | | | | | | | | |
| 41 | | | | | | | | | | | |
| 42 | | | | | | | | | | | |
| 43 | | | | | | | | | | | |
| 44 | | | | | | | | | | | |
| 45 | | | | | | | | | | | |
| 46 | | | | | | | | | | | |
| 47 | | | | | | | | | | | |
| 48 | | | | | | | | | | | |
| 49 | | | | | | | | | | | |
| 50 | | | | | | | | | | | |
| 51 | | | | | | | | | | | |
| 52 | | | | | | | | | | | |
| 53 | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| 54 | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 55 | | | | | | | | | | | |

```
Range("A3,B3").Select
Selection.ClearContents
```

```
For P = 3 To 59 Step 56
```

```
    Range("C" & P & ":" & "D" & P + 49).Select
    Selection.ClearContents
    Range("F" & P & ":" & "F" & P + 49).Select
    Selection.ClearContents
    Range("H" & P & ":" & "J" & P + 49).Select
    Selection.ClearContents
```

```
Next P
```

```
Range("A1").Select
```

```
End Sub
```

```
' 「複合仕訳表」のデータを消去します
```

```
Sub 全空白仕訳表()
```

```
    Application.ScreenUpdating = False
```

```
    ActiveSheet.Unprotect
```

```
    Dim P As Integer
```

```
    Range("A3,B3").Select
```

```
    Selection.ClearContents
```

```
For P = 3 To 59 Step 56
```

```
    Range("C" & P & ":" & "D" & P + 49).Select
```

'年月

'2 ページ分を順次クリア

'ひとつずつなら次のページを

'年、月

'2 ページ分を順次クリア

| 1 | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|----|---|---|---|-----|------|-----|----|---|----|-----|------|
| 2 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード | 摘要 | 元 | 金額 | コード | 勘定科目 |
| 3 | | | | 借方 | Dr | | | | | | 貸方 |
| 4 | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | | |
| 18 | | | | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | | | | |
| 22 | | | | | | | | | | | |
| 23 | | | | | | | | | | | |
| 24 | | | | | | | | | | | |
| 25 | | | | | | | | | | | |
| 26 | | | | | | | | | | | |
| 27 | | | | | | | | | | | |
| 28 | | | | | | | | | | | |
| 29 | | | | | | | | | | | |
| 30 | | | | | | | | | | | |
| 31 | | | | | | | | | | | |
| 32 | | | | | | | | | | | |
| 33 | | | | | | | | | | | |
| 34 | | | | | | | | | | | |
| 35 | | | | | | | | | | | |
| 36 | | | | | | | | | | | |
| 37 | | | | | | | | | | | |
| 38 | | | | | | | | | | | |
| 39 | | | | | | | | | | | |
| 40 | | | | | | | | | | | |
| 41 | | | | | | | | | | | |
| 42 | | | | | | | | | | | |
| 43 | | | | | | | | | | | |
| 44 | | | | | | | | | | | |
| 45 | | | | | | | | | | | |
| 46 | | | | | | | | | | | |
| 47 | | | | | | | | | | | |
| 48 | | | | | | | | | | | |
| 49 | | | | | | | | | | | |
| 50 | | | | | | | | | | | |
| 51 | | | | | | | | | | | |
| 52 | | | | | | | | | | | |
| 53 | | | | | | | | | | | |
| 54 | | | | | | | | | | | |
| 55 | | | | | | | | | | | |

```

Selection.ClearContents
Range("F" & P & ":" & "F" & P + 49).Select
Selection.ClearContents
Range("H" & P & ":" & "H" & P + 49).Select
Selection.ClearContents
Range("I" & P & ":" & "I" & P + 26).Select
Selection.ClearContents
Range("J" & P + 27 & ":" & "J" & P + 32).Select
Selection.ClearContents
Range("I" & P + 33 & ":" & "I" & P + 40).Select
Selection.ClearContents
Range("J" & P + 41 & ":" & "J" & P + 44).Select
Selection.ClearContents
Range("I" & P + 45 & ":" & "I" & P + 49).Select
Selection.ClearContents
Next P
Range("A1").Select
ActiveSheet.Protect
End Sub

```

ひとつずつすんだら次のページを

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
|----|---|---|---|-----|------|-----|----|-----|----|----|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 品定付日 | コード | 数量 | 31E | 備考 | 備考 |
| 2 | | | | | D1 | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | |
| 18 | | | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | | | |
| 22 | | | | | | | | | | |
| 23 | | | | | | | | | | |
| 24 | | | | | | | | | | |
| 25 | | | | | | | | | | |
| 26 | | | | | | | | | | |
| 27 | | | | | | | | | | |
| 28 | | | | | | | | | | |
| 29 | | | | | | | | | | |
| 30 | | | | | | | | | | |
| 31 | | | | | | | | | | |
| 32 | | | | | | | | | | |
| 33 | | | | | | | | | | |
| 34 | | | | | | | | | | |
| 35 | | | | | | | | | | |
| 36 | | | | | | | | | | |
| 37 | | | | | | | | | | |
| 38 | | | | | | | | | | |
| 39 | | | | | | | | | | |
| 40 | | | | | | | | | | |
| 41 | | | | | | | | | | |
| 42 | | | | | | | | | | |
| 43 | | | | | | | | | | |
| 44 | | | | | | | | | | |
| 45 | | | | | | | | | | |
| 46 | | | | | | | | | | |
| 47 | | | | | | | | | | |
| 48 | | | | | | | | | | |
| 49 | | | | | | | | | | |
| 50 | | | | | | | | | | |
| 51 | | | | | | | | | | |
| 52 | | | | | | | | | | |
| 53 | | | | | 累計 | | | | 0 | 0 |
| 54 | | | | | 累計 | | | | | |
| 55 | | | | | | | | | | |

手順その2

2 「期首残高」の入力をします。特別な注意はないです。どのシートでも同じですが、入力可能なところはセルの背景を黄色にしています。

| 1 | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N |
|------------|---|---|-----|--------|------|---------|----|----|----|---|---|---|---|---|
| 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 借方 | 貸方 | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | | | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 2 | 当座預金 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 3 | 庶銀普通預金 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 4 | JA普通預金 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 5 | 定期預金 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| [Redacted] | | | | | | | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 29 | 長期借入金 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 30 | 貸倒引当金 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 31 | 未払費用 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 32 | 譲渡益 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 33 | その他の負債 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 34 | 事業主借 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| 0 | 1 | 1 | 35 | 元入金 | | 前期からの繰越 | | | | | | | | |
| | | | | | 合計 | | | 0 | 0 | | | | | |

当該年を A2 に入力。

資産を I 列

負債を J 列

借方、貸方が一致すれば OK。

セル E43 の式

=IF(D43<>"",1,-1)

セルの書式設定 **ユーザー定義**

種類(I):

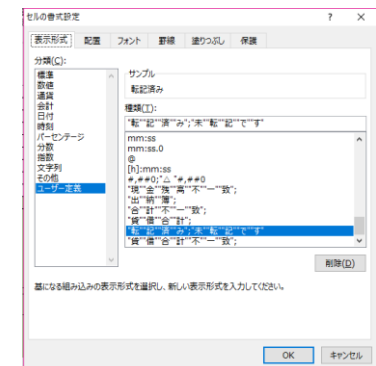
"転"記"済"み;"未"転"記"で"す"

未転記です
 貸借の一致を確認したら、転記作業ボタンを押してください。
 元帳データと残高試算表(前月残高)へ転記します
 一年に一度です。

セル E43

セル D43 が空白でなければ 1

空白ならば -1



" 期首入力されたデータを「元帳データ」（年間集計表）と「残高試算表」に転記します。

期首残高転記

Sub 転記期首 10

```
If MsgBox(prompt:="転記作業を開始しますか。", _
    Title:="データを再度確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
    Dim m As String
    Dim n As Integer
    n = Cells(2, 1).Value * Cells(2, 2).Value
    m = Cells(43, 4).Value
    If n = 0 Then
        MsgBox "年が入力されてません。もう一度"
        Exit Sub
    End If
    If m <> "" Then
        MsgBox "すでに転記済みです。2度はできません。"
        Exit Sub
    End If
```

ここから作業開始 この解説で気がついた。貸借不一致でも作業が進む。想定外です。チェックを追加する必要があるかもしれない？

```
Sheets("まち").Visible = True
Sheets("まち").Select
Application.ScreenUpdating = True
Application.Wait Time:=Now + TimeValue("00:00:02")
Application.ScreenUpdating = False
```

```

Sheets("元帳データ").Visible = True      '作業に必要なシートを再表示する
Sheets("期首残高").Visible = True
Sheets("残高試算表").Visible = True
Sheets("期首残高").Select
    ActiveSheet.Unprotect                保護解除
    Cells(43, 4) = " "                   'セル D43 にスペースをいれる   セル E43 に  転記済み  表示のため
    ActiveSheet.Protect                  '保護設定
Range("A2:J36").Select                   '期首残高全体をコピー
Selection.Copy
Sheets("元帳データ").Select              '「元帳データ」に転記           年分元帳のための期首
Range("A2").Select                       ' (形式を選択して貼り付け, 値のみ)
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Range("A1").Select
Sheets("期首残高").Select
Application.CutCopyMode = False          'コピーモード解除
Sheets("残高試算表").Select
ActiveSheet.Unprotect
Range("D6:E73").Select                   '念のため試算表の転記部分     D6:E73
Selection.ClearContents                  ' (前月残高の欄) を消去
Sheets("期首残高").Select
Range("I2:I22").Select                   '資産残高を試算表に転記
Selection.Copy
Sheets("残高試算表").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _           形式を選択して貼付け、値のみ

```

```

Range("D6").Select
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Sheets("期首残高").Select
Application.CutCopyMode = False
Range("J23:J36").Select                                '負債残高を試算表に転記
Selection.Copy
Sheets("残高試算表").Select
Range("E27").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _    形式を選択して貼付け、値のみ
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Range("A1").Select
Sheets("期首残高").Select
Application.CutCopyMode = False
Range("A1").Select
Sheets("元帳データ").Visible = False                    シートを非表示にする
Sheets("期首残高").Visible = False
Sheets("残高試算表").Visible = False
Sheets("まち").Visible = False
MsgBox " 転記が終了しました。ボタン表に戻ります "
Application.ScreenUpdating = True
End If
Sheets("ボタン表").Select
Range("A1").Select
End Sub

```

手順その2

3 日常のデータ入力。現金出納簿をきちんと入力すること。これだけです。
現金出納簿は12ページあります。月間データ件数は600件になります。
年間では最大8000件までとしています。

振替入力表：複合仕訳表を加えました。これで、ようやく形になりました。

M N O P Q R

データのあるなしを科目欄のコードでチェックしています。

| | M | N | O | P | Q | R |
|-------------|---|---|-----|---------|-----|---|
| 11 | | | | | | |
| 12 出納簿1ページ目 | | | | 先頭行 | 最終行 | |
| 13 (データ数) | 0 | | 3 | | 0 | |
| 14 | | | | D列でチェック | | |
| 15 | | | | | | |
| 16 出納簿2ページ目 | | | | | | |
| 17 (データ数) | 0 | | 59 | | 0 | |
| 18 | | | | D列でチェック | | |
| 19 | | | | | | |
| 20 出納簿3ページ目 | | | | | | |
| 21 (データ数) | 0 | | 115 | | 0 | |
| 22 | | | | D列でチェック | | |
| 23 | | | | | | |
| 24 出納簿4ページ目 | | | | | | |
| 25 (データ数) | 0 | | 171 | | 0 | |
| 26 | | | | D列でチェック | | |
| 27 | | | | | | |
| 28 出納簿5ページ目 | | | | | | |
| 29 (データ数) | 0 | | 227 | | 0 | |
| 30 | | | | D列でチェック | | |
| .. | | | | | | |

| | M | N | O | P | Q | R |
|--------------|---|---|-----|---------|---|---|
| 31 | | | | | | |
| 32 出納簿6ページ目 | | | | | | |
| 33 (データ数) | 0 | | 283 | | 0 | |
| 34 | | | | D列でチェック | | |
| 35 | | | | | | |
| 36 出納簿7ページ目 | | | | | | |
| 37 (データ数) | 0 | | 339 | | 0 | |
| 38 | | | | D列でチェック | | |
| 39 | | | | | | |
| 40 出納簿8ページ目 | | | | | | |
| 41 (データ数) | 0 | | 395 | | 0 | |
| 42 | | | | D列でチェック | | |
| 43 | | | | | | |
| 44 出納簿9ページ目 | | | | | | |
| 45 (データ数) | 0 | | 451 | | 0 | |
| 46 | | | | D列でチェック | | |
| 47 | | | | | | |
| 48 出納簿10ページ目 | | | | | | |
| 49 (データ数) | 0 | | 507 | | 0 | |
| 50 | | | | D列でチェック | | |
| 51 | | | | | | |
| 52 出納簿11ページ目 | | | | | | |
| 53 (データ数) | 0 | | 563 | | 0 | |
| 54 | | | | D列でチェック | | |
| 55 | | | | | | |
| 56 出納簿12ページ目 | | | | | | |
| 57 (データ数) | 0 | | 619 | | 0 | |
| 58 | | | | D列でチェック | | |
| 59 | | | | | | |

M 列から R 列にデータカウントの式を設定しています。印刷や月次繰越の時に利用します

| M | N | O | P | Q | R | M | N | O | P | Q | R |
|----|----------|-------------------|---|---------|------------------------|----|-----------|--------|--------------------|---------|------------------------|
| 12 | 出納簿1ページ目 | | | 先頭行 | 最終行 | 52 | 出納簿11ページ目 | | | | |
| 13 | (データ数) | =COUNTA(D3:D52) | | 3 | =IF(P13=0,0,P13+Q13-1) | 53 | | (データ数) | =COUNTA(D663:D612) | =Q49+56 | =IF(P53=0,0,P53+Q53-1) |
| 14 | | D列でチェック | | | | 54 | | | D列でチェック | | |
| 15 | | | | | | 55 | | | | | |
| 16 | 出納簿2ページ目 | | | | | 56 | 出納簿12ページ目 | | | | |
| 17 | (データ数) | =COUNTA(D59:D108) | | =Q13+56 | =IF(P17=0,0,P17+Q17-1) | 57 | | (データ数) | =COUNTA(D619:D668) | =Q53+56 | =IF(P57=0,0,P57+Q57-1) |
| 18 | | D列でチェック | | | | 58 | | | D列でチェック | | |

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|----|----|----|---|-----|-------|------|------------|----|--------|--------|--------|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 入金 | 出金 | 残高 |
| 2 | | | | 繰越 | P1 | | | | | | 68,741 |
| 3 | 29 | 12 | 1 | 43 | 旅費交通費 | 281 | アフトラプラザホテル | | | 6,000 | 62,741 |
| 4 | 29 | 12 | 1 | 43 | 旅費交通費 | 276 | | | | 1,070 | 61,671 |
| 5 | 29 | 12 | 5 | 43 | 旅費交通費 | 281 | | | | 6,500 | 55,171 |
| 6 | 29 | 12 | 6 | 43 | 旅費交通費 | 277 | | | | 3,000 | 52,171 |
| 7 | 29 | 12 | 6 | 43 | 旅費交通費 | 276 | | | | 1,070 | 51,101 |
| 8 | 29 | 12 | 7 | 36 | 売上 | 55 | | | 28,000 | | 79,101 |
| 9 | 29 | 12 | 7 | 49 | 消耗品費 | 241 | | | | 4,000 | 75,101 |
| 10 | 29 | 12 | 7 | 46 | 接待交際費 | 233 | | | | 33,000 | 42,101 |

セル K2 繰越現金残高入力

A B C D

年 月 日 コード の入力

年月日の入力は必須なので

4 行目以下は日付を入力すると

自動表示の設定

| | | | |
|----------|------------------------|----------|------------------------|
| 年 | | 月 | |
| セル A4 の式 | =IF(C4="", "", \$A\$3) | セル B4 の式 | =IF(C4="", "", \$B\$3) |
| セル A5 の式 | =IF(C5="", "", \$A\$3) | セル B5 の式 | =IF(C5="", "", \$B\$3) |

| | | | |
|----------|--|----------|--|
| 勘定科目 | コード表からの参照入力 | 摘要 | コード表からの参照入力 |
| セル E3 の式 | =IF(D3="", "", VLOOKUP(D3, 科目名, 2, FALSE)) | セル G3 の式 | =IF(F3="", "", VLOOKUP(F3, 摘要名, 2, FALSE)) |
| セル E4 の式 | =IF(D4="", "", VLOOKUP(D4, 科目名, 2, FALSE)) | セル G4 の式 | =IF(F4="", "", VLOOKUP(F4, 摘要名, 2, FALSE)) |

当日の現金残高

| | |
|----------|------------------------------------|
| セル K3 の式 | =IF(AND(I3=0, J3=0), "", K2+I3-J3) |
| セル K4 の式 | =IF(AND(I4=0, J4=0), "", K3+I4-J4) |

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|----|----|----|----|---|--------|---|-----|---|-----------|-----------|---------|
| 52 | 29 | 12 | 22 | 4 | JA普通預金 | 2 | 預入れ | | | 1,000,000 | 533,942 |
| 53 | | | | | 頁計 | | | | 4,753,900 | 4,288,699 | |
| 54 | | | | | 累計 | | | | 4,753,900 | 4,288,699 | 533,942 |

ページ計
セル I 53 の式 =SUM(I3:I52)
セル J53 の式 =I2+I53
全体計
セル I54 の式 =SUM(J3:J52)
セル J54 の式 =J2+J53
セル K54 の式 =K2+I53-J53

セル I58 の式 =I54 セル J58 の式 =J54

| | | | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|----|--|--|--|------------|------------|--------|
| 107 | | | | | | | | | | | |
| 108 | | | | | | | | | | | |
| 109 | | | | | 頁計 | | | | 13,133,952 | 13,609,022 | |
| 110 | | | | | 累計 | | | | 17,887,852 | 17,897,721 | 58,872 |

| 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 入金 | 出金 | 残高 |
|----|----|----|-----|------|--------|-----|-----|-----------|-----------|---------|
| | | | 繰越 | P2 | | | | 4,753,900 | 4,288,699 | 533,942 |
| 59 | 29 | 12 | 22 | 4 | JA普通預金 | 2 | 預入れ | | 500,000 | 33,942 |
| 60 | 29 | 12 | 24 | 46 | 接待交際費 | 159 | | | 4,644 | 29,298 |
| 61 | 29 | 12 | 24 | 59 | 車両関係費 | 249 | | | 4,002 | 25,296 |

ページ計
セル I109 の式 =SUM(I59:I108)
セル J109 の式 =I58+I109
全体計
セル I110 の式 =SUM(J59:J108)
セル J110 の式 =J58+J109
セル K110 の式 =K58+I109-J109

セル I114 の式 =I110 セル J114 の式 =J110

| | | |
|---------|-------|---------|
| 48,000 | | 137,176 |
| | 2,430 | 134,746 |
| | 3,588 | 131,158 |
| | 5,634 | 125,524 |
| | 8,424 | 117,100 |
| | 5,634 | 111,466 |
| 24,400 | | 135,866 |
| 21,400 | | 157,266 |
| 9,100 | | 166,366 |
| 3,450 | | 169,816 |
| | 2,230 | 167,586 |
| | 3,360 | 164,226 |
| | 1,850 | 162,376 |
| | 3,196 | 159,180 |
| | 2,448 | 156,732 |
| | 1,700 | 155,032 |
| 960 | | 155,992 |
| 1,950 | | 157,942 |
| 16,000 | | 173,942 |
| 99,000 | | 272,942 |
| 280,000 | | 552,942 |

出納簿のデータ入力を容易にするためカーソルの移動制限を設けています。

Sub はじめる() Application.EnableEvents = True '2006/4/26 追加
End ON Sub

'Sub とめる() Application.EnableEvents = False '2006/4/26 追加
End OFF Sub

| | | | |
|---|---|---------------|-------------|
| 右 | "Sub 右() Application.MoveAfterReturnDirection = xlToRight End Sub | '2006/4/26 追加 | カーソルが右方向へ移動 |
|---|---|---------------|-------------|

| | | | |
|---|---|---------------|-------------|
| 下 | Sub 下() Application.MoveAfterReturnDirection = xlDown End Sub | '2006/4/26 追加 | カーソルが下方向へ移動 |
|---|---|---------------|-------------|

'Option Explicit

Private Sub Worksheet_SelectionChange(ByVal TARGET As Excel.Range)Application.MoveAfterReturnDirection = xlToRight

Dim s As Integer

If TARGET.Column = 12 And TARGET.Row = 2 Then

s = TARGET.Row

Cells(s + 1, 1).Select

ElseIf TARGET.Column = 5 Then

s = TARGET.Row

Cells(s, 6).Select

ElseIf TARGET.Column = 7 Then

s = TARGET.Row

Cells(s, 8).Select

ElseIf TARGET.Column = 11 And TARGET.Row >= 3 Then

s = TARGET.Row

Cells(s + 1, 3).Select

End If

End Sub

カーソルが入力しやすいように動くようになった。
繰越残高を K2 入力したら、カーソルが A3 に移動する。

- ' 5 列目だと同じ行の 6 列目に移動
科目表示行を飛ばす
- ' 7 列目だと同じ行の 8 列目に移動
摘要表示行を飛ばす
- ' 11 列目でかつ 3 行目以上だと
ひとつ下の行の 3 列目に移動
残高表示、年月を飛ばして
日付入力欄に課カーソルが

```
'Private Sub Worksheet_Change(ByVal TARGET As Range)
```

```
'複数行時は無視
```

```
If TARGET.Count <> 1 Then Exit Sub
```

```
'8列以外は無視
```

```
If Not (TARGET.Column = 8) Then Exit Sub
```

```
'処理開始
```

```
If TARGET.Column = 8 Then
```

```
    Select Case TARGET.Value
```

```
        Case 1
```

```
            TARGET.Value = "課税"
```

```
        Case 2
```

```
            TARGET.Value = "非課税"
```

```
    End Select
```

```
End If
```

```
End Sub
```

メモ欄に課税、非課税を表示させるため

H列

メモ欄に1を入力すると「課税」

メモ欄に2を入力すると「非課税」

その他は無視

手順その2

4 1ヶ月分を入力したら現金出納簿を印刷します。もちろん印刷の前に残高試算表、収支決算書が正しいことを画面上で確認しておいてください。振替入力表、複合仕訳表も忘れないで印刷してください。

データがあるページ分の印刷用シート「印刷出納」を印刷します。

現金出納簿印刷

' 現金出納簿の印刷

' 出納簿データの各ページ分のデータ行数をP列においてチェックしています。

Sub 印刷出納簿新()

If MsgBox(prompt:="プリンタの準備は OK ですか。", _

Title:="プリンタ確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

Application.ScreenUpdating = False

Dim 枚 As Integer 'カウント用変数

Dim 確認 As Integer '印刷方法のチェック用変数

確認 = Sheets("ボタン表").Cells(20, 5).Value '印刷方法指定 セルE20

Sheets("印刷出納").Visible = True

For 枚 = 1 To 12

Sheets("現金出納簿").Select

If Cells(13 + 4 * (枚 - 1), 16).Value <> 0 Then 'データの有無をチェック (P列)

Sheets("印刷出納").Select

Range("R2").Value = 枚

Range("A1").Select

If 確認 = 2 Then

Application.ScreenUpdating = True

| | |
|--|---------------|
| ActiveSheet.PrintPreview | 'ためすときはプレビューで |
| Application.ScreenUpdating = False | |
| End If | |
| If 確認 = 1 Then | |
| ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1 | 'ほんとのときは印刷を |
| End If | |
| End If | |
| Next 枚 | |
| | '作業終了後の整理 |
| Sheets("印刷出納").Select | |
| Range("R2").Value = 1 | '初期設定にする |
| Range("A1").Select | |
| ActiveWindow.SelectedSheets.Visible = False | '非表示にする |
| Sheets("現金出納簿").Select | |
| Range("A1").Select | 'カーソルを定位置にす |
| Application.ScreenUpdating = False | |
| End If | |
| Range("A1").Select | 'カーソルを定位置にする |
| End Sub | |

" 現金出納簿の印刷

「印刷出納」 全面に数式を設定して、現金出納簿のデータをこのシートに表示します。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R |
|----|---|-------|----------|---|------|----|-----------|---------|--------|---|---|---|---|-----------|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | 現金 | | | | | | | No. 2 - 1 | | | | 1 |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 5 | | 月日 | 相手科目 | | 摘要 | メモ | 収入 | 支出 | 残高 | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | 前月繰越 | | | | 68,741 | | | | | | | | | |
| 7 | | 12 1 | 旅費交通費 | | | | | 6,000 | | | | | | | | | | |
| 8 | | | 旅費交通費 | | | | | 1,070 | | | | | | | | | | |
| 9 | | 12 5 | 旅費交通費 | | | | | 6,500 | | | | | | | | | | |
| 10 | | 12 6 | 旅費交通費 | | | | | 3,000 | | | | | | | | | | |
| 11 | | | 旅費交通費 | | | | | 1,070 | | | | | | | | | | |
| 12 | | 12 7 | 売上 | | | | 28,000 | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | 消耗品費 | | | | | 4,000 | | | | | | | | | | |
| 14 | | | 接待交際費 | | | | | 33,000 | | | | | | | | | | |
| 15 | | 12 8 | J A 普通預金 | | | | 1,084,751 | | | | | | | | | | | |
| 16 | | | 仕入 | | | | | 84,404 | | | | | | | | | | |
| 17 | | | 仕入 | | | | | 947,601 | | | | | | | | | | |
| 18 | | | 仕入 | | | | | 52,746 | | | | | | | | | | |
| 19 | | 12 9 | 車両関係費 | | | | | 3,588 | | | | | | | | | | |
| 20 | | 12 10 | 売上 | | | | 9,510 | | | | | | | | | | | |
| 21 | | 12 11 | 売上 | | | | 1,000 | | | | | | | | | | | |
| 22 | | | 売上 | | | | 22,879 | | | | | | | | | | | |
| 23 | | | 租税公課 | | | | | 3,500 | | | | | | | | | | |

セル R2 を1から12まで変化させることで、出納簿の全ページを表示できます。

セル R4 の式

=ROUNDUP(SUM(現金出納簿!P12:P58)/50,0)

SUM(現金出納簿!P12:P58)は現金出納簿に入力されたデータの件数になります。

1ページが50件なので、全件数を50で割ると、出納簿のページ数がわかります。

図の例だと2ページ分あることになります。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | CP | Q | R |
|----|---|----|----|------|-------|---|--------|---|-------|---|-------|---|-------|----------|----|---|-------|
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | 現金 | | | | | | | No 2 - 0 | | | 0 |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 5 | | 月日 | | 相手科目 | | | 摘要 | | メモ | | 収入 | | 支出 | | | | 残高 |
| 6 | | | | | | | 前頁より繰越 | | | | | | | | | | #REF! |
| 7 | | ## | ## | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | | | #REF! |
| 8 | | ## | ## | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | | | #REF! |
| 9 | | ## | ## | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | | | #REF! |
| 10 | | ## | ## | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | | | #REF! |
| 11 | | ## | ## | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | #REF! | | | | #REF! |

セル R2 に 0,2,3 を入力した場合の例が左図、下図になります。

式が不成立で #REF! になります

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | CP | Q | R |
|----|---|----|----|------|----------|---|--------|---|----|---|----|---------|--------|----------|----|---|---------|
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | 現金 | | | | | | | No 2 - 2 | | | 2 |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 5 | | 月日 | | 相手科目 | | | 摘要 | | メモ | | 収入 | | 支出 | | | | 残高 |
| 6 | | | | | | | 前頁より繰越 | | | | | | | | | | 533,942 |
| 7 | | 12 | 22 | | J A 普通預金 | | | | | | | 500,000 | | | | | 33,942 |
| 8 | | 12 | 24 | | 接待交際費 | | | | | | | | 4,644 | | | | |
| 9 | | | | | 車両関係費 | | | | | | | | 4,002 | | | | 25,298 |
| 10 | | 12 | 25 | | 租税公課 | | | | | | | | 4,000 | | | | |
| 11 | | | | | 仕入 | | | | | | | | 30,000 | | | | |

2 ページ目の例です

セル N2 の式

= "No "&R4&" - "&R2

全ページ数と現在のページ数を示します。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | CP | Q | R |
|----|---|----|---|------|---|---|--------|---|----|---|----|---|----|----------|----|---|--------|
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | 現金 | | | | | | | No 2 - 3 | | | 3 |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 5 | | 月日 | | 相手科目 | | | 摘要 | | メモ | | 収入 | | 支出 | | | | 残高 |
| 6 | | | | | | | 前頁より繰越 | | | | | | | | | | 58,872 |
| 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 ページ目の例です

式が成立し 空白 を表示しています

セル現金出納簿の1ページ分は56行分が1単位になります。(データ件数が50行、その他6行分)

月

セル B 7

=IF(INDIRECT("現金出納簿!B"&3+56*(\$R\$2-1))="",,INDIRECT("現金出納簿!B"&3+56*(\$R\$2-1)))

セル B 8

=IF(INDIRECT("現金出納簿!C"&4+56*(\$R\$2-1))=INDIRECT("現金出納簿!C"&3+56*(\$R\$2-1)),,IF(INDIRECT("現金出納簿!B"&4+56*(\$R\$2-1))=0,,INDIRECT("現金出納簿!B"&4+56*(\$R\$2-1))))

セル B 9

=IF(INDIRECT("現金出納簿!C"&5+56*(\$R\$2-1))=INDIRECT("現金出納簿!C"&4+56*(\$R\$2-1)),,IF(INDIRECT("現金出納簿!B"&5+56*(\$R\$2-1))=0,,INDIRECT("現金出納簿!B"&5+56*(\$R\$2-1))))

日

セル C 7

=IF(INDIRECT("現金出納簿!C"&3+56*(\$R\$2-1))="",,INDIRECT("現金出納簿!C"&3+56*(\$R\$2-1)))

セル C 8

=IF(INDIRECT("現金出納簿!C"&4+56*(\$R\$2-1))=INDIRECT("現金出納簿!C"&3+56*(\$R\$2-1)),,IF(INDIRECT("現金出納簿!C"&4+56*(\$R\$2-1))=0,,INDIRECT("現金出納簿!C"&4+56*(\$R\$2-1))))

セル C 9

=IF(INDIRECT("現金出納簿!C"&5+56*(\$R\$2-1))=INDIRECT("現金出納簿!C"&4+56*(\$R\$2-1)),,IF(INDIRECT("現金出納簿!C"&5+56*(\$R\$2-1))=0,,INDIRECT("現金出納簿!C"&5+56*(\$R\$2-1))))

INDIRECT 関数があると良くわからないが、1ページ目セル R 2 = 1 の場合、上の式は事実上次の式になります。

セル B 7

月日の表示

7行目の月日は必ず表示

これ以降は同じ日付なら非表示

日が変わる度に月日を表示

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|---|---|---|---|-----|------|------|----|----|----|-----|------|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 金額 | コード | 勘定科目 |
| 2 | | | | 借方 | P1 | | | | | 貸方 | |
| 3 | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | |

「振替入力表」
振替データは
月間 100件
出納簿換算で
200行分です

データのあるなしを科目欄のコードでチェックしています。

セル E3 の式 =IF(D3="", "", VLOOKUP(D3, 科目名, 2, FALSE)) 借方勘定科目
セル G3 の式 =IF(F3="", "", VLOOKUP(F3, 摘要名, 2, FALSE)) 摘要
セル K3 の式 =IF(J3="", "", VLOOKUP(J3, 科目名, 2, FALSE)) 貸方勘定科目

| | M | N | O | P | Q | R | S | |
|----|----|-----------------------|--------|---------|-----|-----|---|--|
| 8 | | 省略すれば帳簿の作成は不可です。ご注意を！ | | | | | | |
| 9 | | データの移動は厳禁です。式が狂います。 | | | | | | |
| 10 | | 行や列の挿入削除は厳禁です。 | | | | | | |
| 11 | 11 | | | | | | | |
| 12 | 12 | 1ページ目 | | | 先頭行 | 最終行 | | |
| 13 | 13 | | (データ数) | 34 | 3 | 36 | | |
| 14 | 14 | | | D列でチェック | | | | |
| 15 | 15 | | | | | | | |
| 16 | 16 | 2ページ目 | | | | | | |
| 17 | 17 | | (データ数) | 0 | 59 | 0 | | |
| 18 | 18 | | | D列でチェック | | | | |
| 19 | 19 | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | |

セル P13 の式 =COUNTA(D3:D52)
セル Q13 の値 3
セル R13 の式 =IF(P13=0, 0, P13+Q13-1)
セル P17 の式 =COUNTA(D59:D108)
セル Q17 の値 59
セル R17 の式 =IF(P17=0, 0, P17+Q17-1)

振替入力表印刷

振替入力表の印刷 ' 1

入力表データの各ページ分のデータ行数を P 列においてチェックしています。' 2 ページ分

Sub 印刷入力表新()

If MsgBox(prompt:="プリンタの準備は OK ですか。", _

Title:="プリンタ確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

Application.ScreenUpdating = False

Dim 枚 As Integer

'カウント用変数

Dim 確認 As Integer

'印刷方法のチェック用変数

確認 = Sheets("ボタン表").Cells(20, 5).Value

'印刷方法指定 セル E 2 0

Sheets("印刷振替 1").Visible = True

For 枚 = 1 To 2

Sheets("振替入力表").Select

If Cells(13 + 4 * (枚 - 1), 16).Value <> 0 Then

'データの有無をチェック (P 列)

Sheets("印刷振替 1").Select

Range("R2").Value = 枚

Range("A1").Select

If 確認 = 2 Then

Application.ScreenUpdating = True

ActiveSheet.PrintPreview

'ためすときはプレビューで

Application.ScreenUpdating = False

End If

If 確認 = 1 Then

ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1

'ほんとのときは印刷を

End If

```

End If
Next 枚
Sheets("印刷振替 1").Select
Range("R2").Value = 1 '初期化設定
Range("A1").Select
ActiveWindow.SelectedSheets.Visible = False '非表示にする
Sheets("振替入力表").Select
Range("A1").Select
Application.ScreenUpdating = False
End If
Range("A1").Select

```

COUNTIF 関数は、1 つの検索条件に一致するセルの個数を返します。

COUNTIF(振替入力表!P12:P23,0) は P12:P23 の範囲に 0 がいくつあるか

データない 0、1 ページなら 1

2 ページなら 2

End Sub
「印刷振替 1」

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | N | CP | Q | R | S |
|----|---|------|----------|---|----|-------|-----------|------|---|---|----------|---|----|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | 振替データ | | | | | No 1 - 1 | | 1 | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 5 | | 月 日 | 借方科目 | | 摘要 | メモ | 金額 | 貸方科目 | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | 12 1 | 鹿銀普通預金 | | 高 | | 23,734 | 売上 | | | | | | | | |
| 8 | | | J A 普通預金 | | 掛 | | 1,188,880 | 売上 | | | | | | | | |
| 9 | | 12 4 | J A 普通預金 | | 私 | | 72,000 | 売上 | | | | | | | | |
| 10 | | | J A 普通預金 | | 中 | | 19,805 | 売上 | | | | | | | | |
| 11 | | 12 6 | J A 普通預金 | | 西 | | 21,203 | 売上 | | | | | | | | |
| 12 | | 12 7 | 鹿銀普通預金 | | 雑 | | 103,800 | 売上 | | | | | | | | |
| 13 | | | 鹿銀普通預金 | | 雑 | | 877,956 | 売上 | | | | | | | | |

セル N2 の式
="No "&R4&" - "&R2
全ページ数と現在のページ数

セル 4 の式
=2-COUNTIF(振 替 入 力
表!P12:P23,0)
データの有無のカウント

全面の式は「印刷出納」と同様

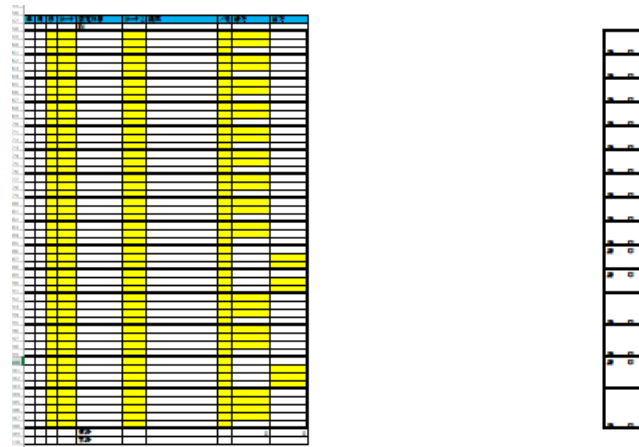
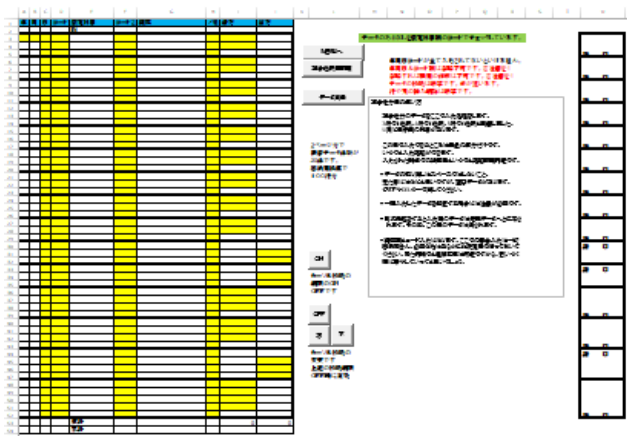
「複合仕訳表」の入力と印刷

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | T | U |
|-----|---|---|---|-----|------|------|----|----|-------------------------------------|-------------------------------------|---|---|----------------------------|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 借方 | 貸方 | | | |
| 2 | | | | | P1 | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | =E5 |
| 4 | | | | | | | | | | | | | =E5 |
| 5 | | | | | | | | | | =IF(SUM(I3:I4)=0,"",SUM(I3:I4)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 6 | | | | | | | | | | | | | =E8 |
| 7 | | | | | | | | | | | | | =E8 |
| 8 | | | | | | | | | | =IF(SUM(I6:I7)=0,"",SUM(I6:I7)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 29 | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | | | | | | | | | =IF(SUM(J31:J32)=0,"",SUM(J31:J32)) | | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 31 | | | | | | | | | | | | | =E30 |
| 32 | | | | | | | | | | | | | =E30 |
| 33 | | | | | | | | | =IF(SUM(J34:J35)=0,"",SUM(J34:J35)) | | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 34 | | | | | | | | | | | | | =E33 |
| 35 | | | | | | | | | | | | | =E33 |
| 96 | | | | | | | | | | | | | =E99 |
| 97 | | | | | | | | | | | | | =E99 |
| 98 | | | | | | | | | | | | | =E99 |
| 99 | | | | | | | | | | =IF(SUM(I96:I98)=0,"",SUM(I96:I98)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 100 | | | | | | | | | | | | | |

セル U3 からセル U52 まで
ここに相手勘定を式で表示させている

セル U59 からセル U108 まで
ここに相手勘定を式で表示させている

2 ページ分



複合仕訳表印刷

'複合仕訳表の印刷

' 入力ページのデータ行数をP列においてチェックしています。' 2 ページ分

Sub 印刷仕訳表新()

If MsgBox(prompt:="プリンタの準備は OK ですか。", _

Title:="プリンタ確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

Application.ScreenUpdating = False

Dim 枚 As Integer

'カウント用変数

Dim 確認 As Integer

'印刷方法のチェック用変数

確認 = Sheets("ボタン表").Cells(20, 5).Value

'印刷方法指定 セルE20

Sheets("印刷振替 2").Visible = True

For 枚 = 1 To 2

Sheets("複合仕訳表").Select

If Cells(13 + 4 * (枚 - 1), 16).Value <> 0 Then

'データの有無をチェック (P列)

Sheets("印刷振替 2").Select

Range("R2").Value = 枚

Range("A1").Select

If 確認 = 2 Then

Application.ScreenUpdating = True

ActiveSheet.PrintPreview

'ためすときはプレビューで

Application.ScreenUpdating = False

End If

If 確認 = 1 Then

ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1

'ほんとのときは印刷を

End If

```

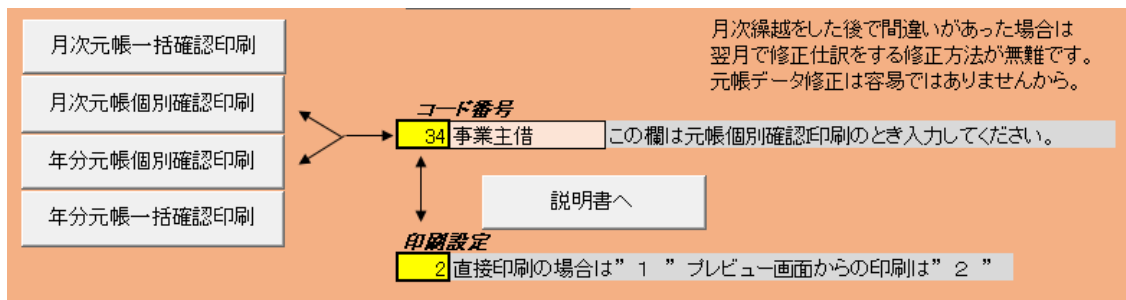
End If
Next 枚
Sheets("印刷振替 2").Select
Range("R2").Value = 1           '初期化設定
Range("A1").Select
ActiveWindow.SelectedSheets.Visible = False '非表示にする
Sheets("複合仕訳表").Select
Range("A1").Select
Application.ScreenUpdating = False
End If
Range("A1").Select
End Sub

```

手順 その2

5 現金出納簿と振替入力表と複合仕訳表に間違いがなければその月の元帳の確認印刷です。元帳印刷をしたあとで間違いに気づいたら、出納簿等の修正をし、その後また印刷が必要です。修正した科目だけを個別確認印刷。印刷する前にプレビューで確認が出来ます。印刷設定で指定してください。

印刷設定「ボタン表」



セル E15 科目コードの入力

セル F15 の式

=IF(E15="", "", VLOOKUP(E15, 科目名, 2, FALSE))

個別確認印刷の科目指定

セル E20 印刷設定の入力

直接印刷の場合は"1" プレビュー画面からの印刷は"2"

月次元帳一括確認印刷

'月次元帳一括確認印刷のマクロです。'現金出納簿にデータがあることが大前提です

```
'Sub 月次元帳一括0
```

```
Dim 有無 As Integer
```

```
有無 = Worksheets("現金出納簿").Cells(3, 4).Value
```

'現金出納簿 D3 の数値をセット

```
If 有無 <> 0 Then
```

'データがあれば 0 ではないはず

```
月次処理新
```

```
Else
```

```
MsgBox ("処理する出納簿データはありません。")
```

```
End If
```

```
Range("A1").Select
```

```
End Sub
```

下にある各部分を作ってから最後にこの形としてまとめたうえ、その後更に上の部分を付け加えて完了です。

```
Sub 月次処理新0
```

```
If MsgBox(prompt:="プリンタの準備は OK ですか。途中でとまるとやり直しです。", _
```

```
Title:="プリンタ確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
```

```
Sheets("まち").Visible = True
```

```
Sheets("まち").Select
```

```
Application.ScreenUpdating = True
```

'この行とこの下の行は 2016/5 追加

```
Application.Wait Time:=Now + TimeValue("00:00:02")
```

'---2 秒間停止

```
Application.ScreenUpdating = False
```

画面上の動きを表示させない

```
Sheets("元帳様式").Visible = True
```

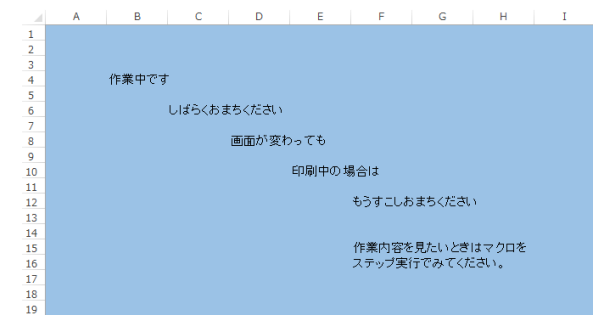
'必要な表を再表示

```
Sheets("元帳月次").Visible = True
```

```
Sheets("残高試算表").Visible = True
```

```
Sheets("作業表").Visible = True
```

シート「まち」



| | |
|-----------------------------------|-------------------|
| Sheets("作業表 3").Visible = True | |
| Sheets("印刷元帳 1").Visible = True | |
| Sheets("印刷元帳 2").Visible = True | |
| Sheets("元帳月次").Select | '作業前にデータを消去 |
| 全空白元帳用 | |
| '各モジュールを順次実行 | |
| 月次元帳 | '残高試算表の前残を元帳月次に作成 |
| 月次出納簿転記 | '現金出納簿を追加 |
| 月次入力簿転記 | '単一仕訳分を追加 |
| 月次複合表転記 | '複合仕訳分を追加 |
| 月次並替 | '月次元帳の並べ替え |
| 月次印刷元帳連続新 | '元帳連続印刷 |
| Sheets("元帳月次").Select | '作業後にデータを消去 |
| 全空白元帳用 | |
| Sheets("元帳様式").Visible = False | '終了後表を非表示 |
| Sheets("元帳月次").Visible = False | |
| Sheets("残高試算表").Visible = False | |
| Sheets("作業表").Visible = False | |
| Sheets("作業表 3").Visible = False | |
| Sheets("まち").Visible = False | |
| Sheets("印刷元帳 1").Visible = False | |
| Sheets("印刷元帳 2").Visible = False | |
| Application.ScreenUpdating = True | 画面上の動きを表示させる |
| End If | |
| Sheets("ボタン表").Select | スタート画面に戻る |

```

Range("A1").Select
End Sub

```

カーソルを定位置に

月次処理新の内容は

```

'必要な表を再表示      「元帳様式」「元帳月次」「残高試算表」「作業表」「作業表 3」「印刷元帳 1」「印刷元帳 2」
'作業前にデータを消去
'各モジュールを順次実行
    月次元帳              '残高試算表の前月残高をシート「元帳月次」に転記
    月次出納簿転記        '現金出納簿のデータをシート「元帳月次」に追加転記
    月次入力簿転記        '単一仕訳分のデータをシート「元帳月次」に追加転記
    月次複合表転記        複合仕訳分のデータをシート「元帳月次」に追加転記
    月次並替              シート「月次元帳」の上の4枚のシートのデータを日付順に並べ替え
    月次印刷元帳連続新    元帳の連続印刷      勘定科目 2 から 68 まで順番に確認、印刷
'作業後にデータを消去
'終了後表を非表示      「元帳様式」「元帳月次」「残高試算表」「作業表」「作業表 3」「まち」「印刷元帳 1」「印刷元帳 2」

```

次が各モジュールの内容です。

```

'元帳用の表データを消去します      「元帳月次」のクリア

```

```

Sub 全空白元帳用()
    Range("A2:K8001").Select
    Selection.Clear
    Range("A1").Select
End Sub

```

シート「元帳月次」

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|---|---|---|---|-----|------|------|----|----|----|----|----|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 借方 | 貸方 | 残高 |
| 2 | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | |

' 「残高試算表」にあるデータを元帳月次に転記します。期首データです。摘要欄には {前期繰り越し} を入力します。

Sub 月次元帳()

Sheets("残高試算表").Select '当月の期首分を試算表から転記します

Range("B6:C73").Select '科目コードと科目名 68件分

Selection.Copy

Sheets("元帳月次").Select '月分用の様式へ値のみ複写

Range("D2").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _

SkipBlanks:=False, Transpose:=False

Application.CutCopyMode = False

Range("E3:E69").Select '現金を除く科目名クリア

Selection.ClearContents

Range("A1").Select

Range("G2").Select '摘要欄に繰越を入力

Application.CutCopyMode = False

ActiveCell.FormulaR1C1 = "前月繰越"

Range("G2").Select 'オートフィルコピー

Selection.AutoFill Destination:=Range("G2:G69"), Type:=xlFillDefault

Range("G2:G69").Select

Sheets("残高試算表").Select '期首残高を複写します

Range("D6:E73").Select

Selection.Copy

Sheets("元帳月次").Select

Range("I2").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|---|----|---|------|--------|------|------------|------------|--------|------|
| 4 | | | 科目 | 借方 | 貸方 | 借方 | 貸方 | 借方 | 貸方 |
| 5 | | | | 前月残高 | 前月残高 | 当月発生 | 当月発生 | 当月残高 | 当月残高 |
| 6 | 資産 | 1 | 現金 | 68,741 | | 17,887,852 | 17,897,721 | 58,872 | |
| 7 | | 2 | 当座預金 | | | | | | |

```

        SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Range("A1").Select
Sheets("残高試算表").Select      'カーソルを定位置へセット
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
Sheets("元帳月次").Select        'カーソルを定位置へセット
Range("A1").Select
Sheets("現金出納簿").Select     '当月の期首の日付を
Application.EnableEvents = False 'カーソル移動判定をさせない
Range("A3:C3").Select           '当月の期首の日付を
Selection.Copy
Sheets("元帳月次").Select        '月次元帳へ値のみ複写転記
Range("A2").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
        SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Range("A2:C2").Select           '年月日のオートフィルコピー
Application.CutCopyMode = False
Selection.AutoFill Destination:=Range("A2:C69"), Type:=xlFillDefault
Range("A2:C69").Select
Range("A2").Select
Sheets("現金出納簿").Select     'カーソルを定位置へセット
Range("A2").Select
Sheets("元帳月次").Select        'カーソルを定位置へセット
Range("A1").Select
End Sub

```

「元帳月次」に転記されたらと当月期首データ 68 件分に当月の最初の取引の日付をセットします。

シート「元帳月次」

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|---|---|---|---|-----|------|------|----|----|----|----|----|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 借方 | 貸方 | 残高 |
| 2 | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | |

| | N | O | P | Q | R | S |
|----|---|---------|-----|-----|-----|---|
| 10 | | | | | | |
| 11 | | | | | | |
| 12 | | | 先頭行 | 最終行 | 罫線引 | |
| 13 | | 0 | 2 | 1 | 3 | |
| 14 | | B列でチェック | | | | |
| 15 | | | | | | |
| 16 | | | | | | |
| 17 | | | 2 | | | |
| 18 | | | | | | |
| 19 | | | | | | |
| 20 | | | | | | |
| 21 | | | | | | |
| 22 | | | | | | |
| 23 | | | | | | |
| 24 | | | | | | |
| 25 | | | | | | |
| 26 | | | | | | |
| 27 | | | | | | |
| 28 | | | | | | |

「現金出納簿」のデータを元帳のデータの形に変換するときに、この画面を利用しています。

このうえの数値は、データカウントの式です。

- セル O13 の式 $=COUNTA(B2:B6001)$
データの総件数
- セル P13 の値 2
このシートにある最初のデータの行番号
- セル Q13 の式 $=O13+P13-1$
このシートにある最後のデータの行番号
- セル R13 の式 $=Q13+2$
データのある範囲に罫線を引いたための数値
- セル P17 の式 $=Q13+1$
このシートにデータを追加転記する時の行番号

' 出納簿にあるデータを「元帳月次」に転記します

Sub 月次出納簿転記()

Sheets("現金出納簿").Select

Application.EnableEvents = False

Dim BBV As String

Dim BBW As String

Dim BBX As String

Dim DDV As String

Dim DDW As String

Dim DDX As String

Dim EEZ As String

Dim O As Integer

Dim P As Integer

For O = 13 To 57 Step 4

P = 3 + ((O - 13) / 4 * 56)

If Cells(O, 16).Value <> 0 Then

Dim AA As Range

Set AA = Worksheets("現金出納簿").Range("R" & O)

Dim BB As Range

Set BB = Worksheets("現金出納簿").Range("P" & O)

BBV = "A" & P & ":" & "H" & AA

BBW = "I" & P & ":" & "I" & AA

BBX = "J" & P & ":" & "J" & AA

Dim CC As Range

Set CC = Worksheets("元帳月次").Range("P17")

'カーソル移動判定をさせない マクロ実行中に余計な作業をさせないため
データ転記のための範囲指定用のための変数

'現金出納簿のページカウントのための変数

'1 2 ページ分を順次チェックします。

'O はチェック行 P は各出納簿トップ行

'データの有無をチェック (P列)

範囲の変数

'コピー行数取得 順次チェックします。

'科目名変更のため

'コピー行数取得 順次チェック

'コピー範囲: 摘要欄&メモ欄まで

'コピー範囲: 収入欄

'コピー範囲: 支出欄

範囲の変数

'新規転記先頭行数取得 セルP 17

| | O | P |
|-------|----|-----|
| 1ページ | 13 | 3 |
| 2ページ | 17 | 59 |
| 3ページ | 21 | 115 |
| 4ページ | 25 | 171 |
| 5ページ | 29 | 227 |
| 6ページ | 33 | 283 |
| 7ページ | 37 | 339 |
| 8ページ | 41 | 395 |
| 9ページ | 45 | 451 |
| 10ページ | 49 | 507 |
| 11ページ | 53 | 563 |
| 12ページ | 57 | 619 |

```

DDV = "A" & CC
DDW = "I" & CC
DDX = "J" & CC
EEZ = "E" & CC & ":" & "E" & CC + BB - 1
Sheets("現金出納簿").Select
Range(BBV).Select
Selection.Copy
Sheets("元帳月次").Select
Range(DDV).Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Range("E2").Select
Selection.Copy
Range(EEZ).Select
ActiveSheet.Paste
Sheets("現金出納簿").Select
Application.CutCopyMode = False
Range(BBW).Select
Selection.Copy
    Sheets("元帳月次").Select
Range(DDX).Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Sheets("現金出納簿").Select
Application.CutCopyMode = False

```

'コピー'-の先頭行セル：摘要欄&メモ欄まで

'コピー'-の先頭行セル：借方欄

'コピー'-の先頭行セル：貸方欄

'科目名変更のため

'コピー'範囲 年月日から摘要欄&メモ欄まで

'形式を選択して貼り付け 値のみ

'科目名変更のため

'「現金」を今回転記した範囲にコピーする

'収入欄を借方へ

'先頭行から値のみ複写


```

Range(BBX).Select                                '支出欄を貸方へ
Selection.Copy
Sheets("元帳月次").Select
Range(DDW).Select                                '先頭行から値のみ複写
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
Sheets("現金出納簿").Select
Application.CutCopyMode = False
Range("A1").Select
End If
Next O                                            'ひとつずつなら次のページをチェックします。
End Sub

```

'月次出納簿転記を流用変更' 振替分は借方貸方の変更は必要ないので 貼り付けは1回でok 科目もそのまま
 '振替入力表からの入力でも、データは「振替入力簿」からの転記 振替入力簿のデータカウン트의式を変更している。

```

Sub 月次入力簿転記()
    Sheets("振替入力簿").Visible = True
    Sheets("振替入力簿").Select
    Dim BBV As String
    Dim BBW As String
    Dim DDV As String
    Dim DDW As String

```

```

Dim O As Integer
Dim P As Integer
For O = 13 To 25 Step 4
    P = 3 + ((O - 13) / 4 * 56)
    If Cells(O, 16).Value <> 0 Then
        Dim AA As Range
        Set AA = Worksheets("振替入力簿").Range("R" & O)
        Dim BB As Range
        Set BB = Worksheets("振替入力簿").Range("P" & O)
        BBV = "A" & P & ":" & "J" & AA
        BBW = "U" & P & ":" & "U" & AA
        Dim CC As Range
        Set CC = Worksheets("元帳月次").Range("P17") '新規転記先頭行数取得 セルP17
        DDV = "A" & CC
        DDW = "E" & CC
        Sheets("振替入力簿").Select
        Range(BBV).Select
        Selection.Copy
        Sheets("元帳月次").Select
        Range(DDV).Select
        Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
            SkipBlanks:=False, Transpose:=False
        Sheets("振替入力簿").Select
        Application.CutCopyMode = False
        Range(BBW).Select

```

```

'4 ページ分を順次チェックします。
'O はチェック行 P は各入力簿トップ行
'データの有無をチェック (P列)
'コピー行数取得 順次チェックします。
'科目名変更のため
'コピー行数取得 順次チェック
'コピー範囲: A列からJ列まで
'コピー範囲: U列 反対科目名 (単一仕訳を想定)
'新規転記先頭行セル: 摘要欄&メモ欄まで
'コピー範囲 年月日から最後まで (残高のぞく)
'形式を選択して貼り付け 値のみ
'コピー範囲 U列 反対科目名 (単一仕訳を想定)

```

| | O | P |
|------|----|-----|
| 1ページ | 13 | 3 |
| 2ページ | 17 | 59 |
| 3ページ | 21 | 115 |
| 4ページ | 25 | 171 |

```

Selection.Copy
Sheets("元帳月次").Select
Range(DDW).Select           '形式を選択して貼り付け   値のみ
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Sheets("振替入力簿").Select
Application.CutCopyMode = False
Range("A1").Select
End If
Next O                       'ひとつずつなら次のページをチェックします。
Sheets("振替入力簿").Visible = False
End Sub

```

「振替入力表」に入力したデータは「振替入力簿」に変換され、転記はここから行われる。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|---|---|---|---|-----|------|------|----|----|----|-----|------|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 金額 | コード | 勘定科目 |
| 2 | | | | 借方 | P1 | | | | | 貸方 | |
| 3 | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | |

「振替入力表」
振替データは
月間 100 件
出納簿換算で
200 行分です

データのあるなしを科目欄のコードでチェックしています。

「振替入力簿」

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
|---|---|---|---|-----|------|------|----|----|----|----|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 借方 | 貸方 |
| 2 | | | | | P1 | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | |

入力表の1行分がこの入力簿の2件分になる。

データの入力部分を別に設定(振替入力表)し、この表にデータを持ってくる。

4 ページ分で、振替データ件数が 100 件です。出納簿換算で 200 行分です。年間 2400 件。

| | | | |
|----------|--------------------------------|----------|--------------------------------|
| セル A3 の式 | =IF(振替入力表!A3="", "", 振替入力表!A3) | セル A4 の式 | =IF(振替入力表!A3="", "", 振替入力表!A3) |
| セル B3 の式 | =IF(振替入力表!B3="", "", 振替入力表!B3) | セル B4 の式 | =IF(振替入力表!B3="", "", 振替入力表!B3) |
| セル C3 の式 | =IF(振替入力表!C3="", "", 振替入力表!C3) | セル C4 の式 | =IF(振替入力表!C3="", "", 振替入力表!C3) |
| セル D3 の式 | =IF(振替入力表!D3="", "", 振替入力表!D3) | セル D4 の式 | =IF(振替入力表!D3="", "", 振替入力表!D3) |
| セル E3 の式 | =IF(振替入力表!E3="", "", 振替入力表!E3) | セル E4 の式 | =IF(振替入力表!E3="", "", 振替入力表!E3) |
| セル F3 の式 | =IF(振替入力表!F3="", "", 振替入力表!F3) | セル F4 の式 | =IF(振替入力表!F3="", "", 振替入力表!F3) |
| セル G3 の式 | =IF(振替入力表!G3="", "", 振替入力表!G3) | セル G4 の式 | =IF(振替入力表!G3="", "", 振替入力表!G3) |
| セル H3 | なし | セル H4 | なし |
| セル I3 の式 | =IF(振替入力表!I3="", "", 振替入力表!I3) | セル I4 の式 | なし |
| セル J3 の式 | | セル J4 の式 | =IF(振替入力表!J3="", "", 振替入力表!J3) |

2 ページだけのチェックなので、そのまま実行。連続してデータが入力されないことの可能性、仕訳が 4 行以上のものもあるかもしれないので、全体を作業表 3 に転記し、並べ替えをしたあと、必要なデータを、当初予定の「元帳月次」に転記する

Sub 月次複合表転記()

Sheets("複合仕訳表").Select

Application.EnableEvents = False

If Cells(13, 16).Value <> 0 Then

'2007/5/16 追加 カーソル移動なし

'データの有無をチェック (セル P 1 3)

| | |
|---|-----------------------|
| Range("A3:J52").Select | 'データがあったら50行全部コピー |
| Selection.Copy | |
| Sheets("作業表 3").Select | '値のみ貼り付け |
| Range("A2").Select | |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks _ :=False, Transpose:=False | |
| Sheets("複合仕訳表").Select | '相手勘定科目の表示のため |
| Application.CutCopyMode = False | コピーモード解除 |
| Range("U3:U52").Select | 'ここに相手勘定を式で表示させている |
| Selection.Copy | |
| Sheets("作業表 3").Select | '値のみ貼り付け |
| Range("E2").Select | |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks _ :=False, Transpose:=False | |
| Application.CutCopyMode = False | |
| Sheets("複合仕訳表").Select | 作業後の後始末 |
| Application.CutCopyMode = False | コピーモード解除 |
| Range("A1").Select | カーソルを定位置に |
| End If | |
| 'ひとつすんだら次のページをチェックします。 | |
| If Cells(17, 16).Value <> 0 Then | 'データの有無をチェック (セルP 17) |
| Range("A59:J108").Select | 'データがあったら50行全部コピー |
| Selection.Copy | |
| Sheets("作業表 3").Select | '値のみ貼り付け |
| Range("A52").Select | |

```

Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks _
    :=False, Transpose:=False
Sheets("複合仕訳表").Select           '相手勘定科目の表示のため
Application.CutCopyMode = False
Range("U59:U108").Select             'ここに相手勘定を式で表示させている
Selection.Copy
Sheets("作業表 3").Select             '値のみ貼り付け
Range("E52").Select
Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks _
    :=False, Transpose:=False
Application.CutCopyMode = False
Sheets("複合仕訳表").Select           作業後の後始末
Application.CutCopyMode = False       コピーモード解除
Range("A1").Select                    カーソルを定位置に
End If
Sheets("作業表 3").Select             '転記されたデータを並べ替え
Range("A1").Select
Dim BBV As String
Dim DDV As String
If Cells(2, 1).Value <> 0 Then        'データの有無をチェック (セルA 2)
    Range("A2:J101").Select
        Selection.Sort Key1:=Range("A2"), Order1:=xlAscending, Key2:=Range("B2") _
            , Order2:=xlAscending, Key3:=Range("C2"), Order3:=xlAscending, Header:= _
            xlGuess, OrderCustom:=1, MatchCase:=False, Orientation:=xlTopToBottom, _
            SortMethod:=xlPinYin, DataOption1:=xlSortNormal, DataOption2:= _

```

```

xlSortNormal, DataOption3:=xlSortNormal
Range("A2").Select
'年月日が入力された有効なデータが前にくるので、D列をカウントして、当初の元帳データに貼り付け、その後クリアして作業が終了。次に移る
Dim AA As Range
Set AA = Worksheets("作業表 3").Range("P6")           'コピー行数取得 セルP 6 設置
BBV = "A2 : " & "J" & AA                          'コピー範囲： A列からJ列まで
Dim CC As Range
Set CC = Worksheets("元帳月次").Range("P17")         '新規転記先頭行数取得
DDV = "A" & CC                                       'コピーの先頭行セル：摘要欄&冊数欄まで
Worksheets("作業表 3").Select
Range(BBV).Select                                   'コピー範囲 年月日から最後まで（残高のぞく）
Selection.Copy
Worksheets("元帳月次").Select
Range(DDV).Select                                   '形式を選択して貼り付け 値のみ
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Range("A1").Select
Worksheets("作業表 3").Select
Application.CutCopyMode = False
Range("A1").Select
End If
Range("A2:J101").Select                             作業後の後始末
Selection.Clear                                     「作業表 3」をクリア
Range("A2").Select                                   カーソルを定位置に
Worksheets("複合仕訳表").Select                     作業後の後始末

```

Range("A1").Select

カーソルを定位置に

End Sub

「作業表 3」 現金出納簿の形式を流用

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K |
|---|---|---|---|-----|------|------|----|----|----|----|----|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 入金 | 出金 | 残高 |
| 2 | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | |

セル P6 の式
=COUNTA(D:D)

| | O | P | Q |
|----|---|---------|---|
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | 1 | |
| 7 | | D列でカウント | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |

「複合仕訳表」 2 ページ分で、振替データ件数が 30 件です。出納簿換算で 100 行分。

This screenshot shows a complex transaction table with multiple columns and rows. A help window is open on the right side, providing detailed instructions and information related to the data entry process. The table contains various numerical and text-based entries, and the help window includes sections for '注意事項' (Notes) and '操作方法' (Operation Method).

This block contains two side-by-side screenshots of the same complex transaction table. The left screenshot shows the table with a yellow highlight on a specific row, and the right screenshot shows the table with a different set of data or a different view, possibly illustrating a data transformation or a specific data state.

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | T | U |
|-----|---|---|---|-----|------|------|----|----|----|-------------------------------------|---|---|----------------------------|
| 1 | 年 | 月 | 日 | コード | 勘定科目 | コード2 | 摘要 | メモ | 借方 | 貸方 | | | |
| 2 | | | | | P1 | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | =E5 |
| 4 | | | | | | | | | | | | | =E5 |
| 5 | | | | | | | | | | =IF(SUM(I3:I4)=0,"",SUM(I3:I4)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 6 | | | | | | | | | | | | | =E8 |
| 7 | | | | | | | | | | | | | =E8 |
| 8 | | | | | | | | | | =IF(SUM(I6:I7)=0,"",SUM(I6:I7)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 29 | | | | | | | | | | =IF(SUM(I27:I28)=0,"",SUM(I27:I28)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 30 | | | | | | | | | | | | | =E30 |
| 31 | | | | | | | | | | | | | =E30 |
| 32 | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | | | | | | | | | | =IF(SUM(J34:J35)=0,"",SUM(J34:J35)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 34 | | | | | | | | | | | | | =E33 |
| 35 | | | | | | | | | | | | | =E33 |
| 95 | | | | | | | | | | =IF(SUM(I92:I93)=0,"",SUM(I92:I93)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 96 | | | | | | | | | | | | | =E99 |
| 97 | | | | | | | | | | | | | =E99 |
| 98 | | | | | | | | | | | | | =E99 |
| 99 | | | | | | | | | | =IF(SUM(I96:I98)=0,"",SUM(I96:I98)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |
| 100 | | | | | | | | | | =IF(SUM(J94:J95)=0,"",SUM(J94:J95)) | | | 諸 <input type="checkbox"/> |

セル U3 からセル U52 まで
ここに相手勘定を式で表示させている

セル U59 からセル U108 まで
ここに相手勘定を式で表示させている

現金分に振替分を追加転記したあと日付順に並べ替え 70 行以下 1500 行まで 科目名がないデータは下にくる

Sub 月次並替()

Sheets("元帳月次").Select

Range("A70:K1500").Sort Key1:=Range("A2"), Order1:=xlAscending, Key2:=Range _

("B2"), Order2:=xlAscending, Key3:=Range("C2"), Order3:=xlAscending, _

Header:=xlGuess, OrderCustom:=1, MatchCase:=False, Orientation:= _

xlTopToBottom, SortMethod:=xlPinYin, DataOption1:=xlSortNormal, _

DataOption2:=xlSortNormal, DataOption3:=xlSortNormal

End Sub

ここまでで、前月繰越残高、「現金出納簿」、「振替入力簿」、「複合仕訳表」のデータが日付順に並べ変えられて、「元帳月次」に整理されます。

このシート上のデータを **月次印刷元帳連続新** のマクロで印刷することになります。

全空白元帳用 **科目選択 "元帳様式", "元帳月次", 勘定科目** **式入力 "元帳様式", 勘定科目** **集計開始** **月計算出**
印刷元帳新 2 (ここが印刷画面のマクロ) **集計解除**

印刷部分です。 ' 勘定科目の全てを一括して処理確認印刷をします。

Sub **月次印刷元帳連続新()**

Sheets("ボタン表").Select

Dim 勘定科目 As Integer

勘定科目 = 0

Dim 勘定科目名 As String

勘定科目名 = ""

Sheets("元帳様式").Select

ActiveSheet.Unprotect

For 勘定科目 = 2 To 68

'資産 21 負債 14 収入 3 支出 30

勘定科目名 = Worksheets("コード表").Cells(勘定科目, 2).Value

全空白元帳用

科目選択 "元帳様式", "元帳月次", 勘定科目

勘定科目コードに基づきデータを検索します

If Range("O13").Value = 0 Then

'検索データがない場合

'なにもしないで次へいく

ElseIf Range("O9").Value = 0 Then

'検索データがあっても数値がない場合

全空白元帳用

'不要データを削除

Else

'以上の2つにあてはまらない場合

元帳を作成します

| | |
|---|-----------------------------------|
| 式入力 "元帳様式", 勘定科目 | 'データがあれば残高計算式を入力します |
| Range("A2:K1000").Select | |
| Selection.Copy | '月計と累計が同じになる部分を修正するため |
| Sheets("作業表").Select | |
| Range("A2").Select | |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _ | '計算された分を作業表に形式を選択して貼り付け(値のみ)転記します |
| SkipBlanks:=False, Transpose:=False | |
| Range("A1").Select | 'カーソルを定位置に |
| Application.CutCopyMode = False | |
| 集計開始 | '小計合計を計算します |
| 月計算出 | '小計欄を月計ということ |
| Range("B1").Select | |
| Selection.CurrentRegion.Select | '選択範囲全体をコピーして値のみに貼り付ける |
| Selection.Copy | |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _ | |
| False, Transpose:=False | |
| Range("A1").Select | |
| Application.CutCopyMode = False | |
| Range("A1").Select | |
| Range("B1").Select | 'そして一番最後の行を削除する |
| Selection.End(xlDown).Select | |
| ActiveCell.EntireRow.Delete | |
| Range("B1").Select | |
| Worksheets("印刷元帳 1").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名 | |
| Worksheets("印刷元帳 2").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名 | |

印刷元帳新 2

Sheets("作業表").Select

集計解除

Range("A2:K1000").Select

作業後の後始末

Selection.Clear

Range("A1").Select

Sheets("元帳様式").Select

作業後の後始末

Range("A2:K1000").Select

Selection.Clear

Range("A1").Select

End If

Next 勘定科目

Sheets("元帳様式").Select

ActiveSheet.Protect

End Sub

,

' 選択された勘定科目を元帳（表名）へ転記します

Sub 科目選択(表名 1, 表名 2, 科目)

Sheets(表名 2).Select

Range("B1").Select

Selection.AutoFilter

Selection.AutoFilter Field:=4, Criteria1:=科目

Range("A2:K8001").Select

Selection.Copy

Sheets(表名 1).Select

Range("A2").Select

ActiveSheet.Paste

Sheets(表名 2).Select

Application.CutCopyMode = False

Range("A1").Select

Selection.AutoFilter

Sheets(表名 1).Select

Range("A1").Select

End Sub

科目選択 "元帳様式", "元帳月次", 勘定科目

'オートフィルタを設定

'勘定科目のコードを選択

'一科目 8 0 0 0 行目まで OK

'オートフィルタの設定解除

勘定科目=2 の場合

Sub 選択()

Sheets(元帳月次).Select

Range("B1").Select

Selection.AutoFilter

Selection.AutoFilter Field:=4, Criteria1:=2

Range("A2:K8001").Select

Selection.Copy

Sheets("元帳様式").Select

Range("A2").Select

ActiveSheet.Paste

Sheets(元帳月次).Select

Application.CutCopyMode = False

Range("A1").Select

Selection.AutoFilter

Sheets("元帳様式").Select

Range("A1").Select

End Sub

当月のデータは全て「元帳月次」にあります。その中から、指定した科目コードのデータをオートフィルタで選び、それを「元帳様式」に転記、「元帳月次」を元に戻して、「元帳様式」を選択し、このマクロは終了。次へ進む。

' 残高計算のための式入力を行います

```
Sub 式入力(表名, 科目)
    Dim MMV As String
    Dim MMX As String
    Dim MM As Range
    Set MM = Worksheets(表名).Range("Q13")
    MMV = "K3:" & "K" & MM
    MMX = "A1:" & "K" & MM
    If (科目 >= 22 And 科目 <= 38) Then
        Range("K2").Select
        ActiveCell.FormulaR1C1 = "=RC[-1]-RC[-2]"
        If Range("O13").Value >= 2 Then
            Range("K3").Select
            ActiveCell.FormulaR1C1 = "=R[-1]C+RC[-1]-RC[-2]"
        End If
    Else
        Range("K2").Select
        ActiveCell.FormulaR1C1 = "=RC[-2]-RC[-1]"
        If Range("O13").Value >= 2 Then
            Range("K3").Select
            ActiveCell.FormulaR1C1 = "=R[-1]C+RC[-2]-RC[-1]"
        End If
    End If
    If Range("O13").Value >= 3 Then
        Range("K3").Select
    End Sub
```

式入力 "元帳様式", 勘定科目

'データ件数取得 セルQ13

'残高欄範囲

'計算範囲

'負債の開始番号から収入の最後の番号

'負債&収入の部, 1行目残高計算

'2行目残高計算

'Elseの結果、資産と支出がここになる

'資産&支出の部, 1行目残高計算

'2行目残高計算

'3行以上ならオートフィルコピーをする

```
Selection.AutoFill Destination:=Range(MMV), Type:=xlFillDefault
End If
Range("A1").Select
Range(MMX).Select
End Sub
```

'式入力後は集計ですので、計算範囲を選択しておく

式入力 "元帳様式", 勘定科目

```
Sub 式入力(表名, 科目)
Dim MMV As String
Dim MMX As String
Dim MM As Range
Set MM = Worksheets(表名).Range("Q13")
MMV = "K3:" & "K" & MM
MMX = "A1:" & "K" & MM
```

```
If (科目 >= 22 And 科目 <= 38) Then
    '負債の開始番号から収入の最後の番号
    Range("K2").Select
    ActiveCell.FormulaR1C1 = "=RC[-1]-RC[-2]"
    If Range("O13").Value >= 2 Then
        Range("K3").Select
        ActiveCell.FormulaR1C1 = "=R[-1]C+RC[-1]-RC[-2]"
    End If
Else
    Range("K2").Select
    ActiveCell.FormulaR1C1 = "=RC[-2]-RC[-1]"
    If Range("O13").Value >= 2 Then
        Range("K3").Select
        ActiveCell.FormulaR1C1 = "=R[-1]C+RC[-2]-RC[-1]"
    End If
End If
```

```
If Range("O13").Value >= 3 Then
    Range("K3").Select
    Selection.AutoFill Destination:=Range(MMV), Type:=xlFillDefault
End If
Range("A1").Select
Range(MMX).Select
End Sub
```


' 小計合計の算出の開始をします、'ここは範囲選択されたあとで実行しないとエラーが起こります。

Sub 集計開始()

'範囲を式入力の段階で設定してここにくる。チェックは月の欄で小計そして合計

```
Selection.Subtotal GroupBy:=2, Function:=xlSum, TotalList:=Array(9 _  
    , 10), Replace:=False, PageBreaks:=False, SummaryBelowData:=True
```

```
' ActiveSheet.PrintPreview
```

End Sub

'集計をしたあと月計欄に、累計から前期繰り越し金額を控除した式を月計欄に入力する

Sub 月計算出()

```
Dim dd As Integer
```

```
Range("B1").Select
```

```
Selection.End(xlDown).Select
```

```
dd = Selection.Row
```

```
Range("H" & dd - 1).Select
```

```
ActiveCell.FormulaR1C1 = "=R[1]C[0]-R[-" & dd - 3 & "]C[0]"
```

```
Range("I" & dd - 1).Select
```

```
ActiveCell.FormulaR1C1 = "=R[1]C[0]-R[-" & dd - 3 & "]C[0]"
```

```
Range("J" & dd - 1).Select
```

```
ActiveCell.FormulaR1C1 = "=R[1]C[0]-R[-" & dd - 3 & "]C[0]"
```

End Sub

' 作業表でデータがきれいになるように空白をあけたり、データカウントのために * を入力したりしています。

Sub 印刷元帳新2()

```
Dim 確認 As Integer
```

```

Dim 数量 As Integer
Dim 枚 As Integer
Dim 印刷枚数 As Integer
Dim counter As Integer
確認 = Worksheets("ボタン表").Cells(20, 5).Value
数量 = Worksheets("印刷元帳 2").Cells(6, 18).Value
For counter = 1 To 数量
    If Cells(counter, 1).Value = "" Then
        Cells(counter, 5).Value = " 合 計  "
        Cells(counter, 2).Value = ""
    End If
Next counter
数量 = 数量 + 10
For counter = 1 To 数量
    If Cells(counter, 5).Value = " 合 計  " Then
        Cells(counter, 1).Select
        ActiveCell.EntireRow.Insert
        Cells(counter, 5).Value = " *  "
        Cells(counter + 2, 1).Select
        ActiveCell.EntireRow.Insert
        Cells(counter + 2, 5).Value = " *  "
        counter = counter + 2
    End If
Next counter
Range("A1").Select

```

'ボタン表のセルE 2 0の数値をセット

'印刷元帳のセルR 6の数値をセット

'集計をしたら合計行ではB列以外は空白です

'その行に 合計を表示します

'B列の 計を空白にします

'チェック回数を 10 回多くするため

'合計がある行の下に一行を挿入し、* を表示

```

印刷枚数 = Worksheets("印刷元帳 2").Cells(4, 18).Value      '印刷元帳 2 のセル R 4 の数値をセット
For 枚 = 1 To 印刷枚数
    Sheets("印刷元帳 2").Select
    Range("R2").Value = 枚
    Range("A1").Select
    If 確認 = 2 Then
        Application.ScreenUpdating = True
        ActiveSheet.PrintPreview                          'ためすときはプレビューで
        Application.ScreenUpdating = False
    End If
    If 確認 = 1 Then
        ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1    'ほんとのときは印刷を
    End If
Next 枚
Range("A1").Select
End Sub
'
' 小計合計の算出を解除します
Sub 集計解除()
    Range("B1").Select
    Selection.RemoveSubtotal
End Sub

```

```

' 残高試算表の月初のデータを消去します
Sub 全空白試算表()
    If MsgBox(prompt:="もうもとはもどれませんよ!", _
        Title:="データ消去, 再度確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
        Application.Goto Reference:="試算表 3" '範囲名を利用しています
        Selection.ClearContents
    End If
    Range("A1").Select
End Sub
'
' 予算書入力欄のデータを消去します
Sub 全空白予算()
    If MsgBox(prompt:="もうもとはもどけませんよ!", _
        Title:="データ消去, 再度確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
        Application.ScreenUpdating = Fals
        Range("D3:D7,D12:D40").Select
        Selection.ClearContents
    End If
    Application.Goto Reference:=Range("A1"), Scroll:=True
End Sub
'

```

月次元帳個別確認印刷

'月次元帳個別確認印刷のマクロです。

' 現金出納簿にデータがあることが大前提です

Sub 月次元帳個別()

Dim 有無 As Integer

有無 = Worksheets("現金出納簿").Cells(3, 4).Value

If 有無 <> 0 Then

月次処理 3 新

Else

MsgBox ("処理する出納簿データはありません。")

End If

Range("A1").Select

End Sub

'個別印刷のため連続印刷の部分を一部修正利用

' 下にある各部分を作ってから最後にこの形としてまとめたうえ、

' その後更に上のデータチェックの付け加えて完了です。

Sub 月次処理 3 新()

If MsgBox(prompt:="プリンタの準備は OK ですか。途中でとまるとやり直しです。", _

Title:="プリンタ確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

Sheets("まち").Visible = True

Sheets("まち").Select

Application.ScreenUpdating = True

'現金出納簿 D3 の数値をセット

'データがあれば 0 ではないはず

'上の行とこの行は 2016/5 追加

| | |
|--|-------------------|
| Application.Wait Time:=Now + TimeValue("00:00:02") | '---2 秒間停止 |
| Application.ScreenUpdating = False | |
| Sheets("元帳様式").Visible = True | '必要な表を再表示 |
| Sheets("元帳月次").Visible = True | |
| Sheets("残高試算表").Visible = True | |
| Sheets("作業表").Visible = True | |
| Sheets("作業表 3").Visible = True | |
| Sheets("印刷元帳 1").Visible = True | |
| Sheets("印刷元帳 2").Visible = True | |
| Sheets("元帳月次").Select | '作業前にデータを消去 |
| 全空白元帳用 | |
| '各モジュールを順次実行 | |
| 月次元帳 | '残高試算表の前残を元帳月次に作成 |
| 月次出納簿転記 | '現金出納簿を追加 |
| 月次入力簿転記 | '単一仕訳分を追加 |
| 月次複合表転記 | '複合仕訳分を追加 |
| 月次並替 | '月次元帳の並べ替え |
| 月次印刷元帳個別新 | '個別印刷 |
| Sheets("元帳月次").Select | '作業後にデータを消去 |
| 全空白元帳用 | |
| Sheets("元帳様式").Visible = False | '終了後表を非表示 |
| Sheets("元帳月次").Visible = False | |
| Sheets("残高試算表").Visible = False | |
| Sheets("作業表").Visible = False | |
| Sheets("作業表 3").Visible = False | |

```

Sheets("まち").Visible = False
Sheets("印刷元帳 1").Visible = False
Sheets("印刷元帳 2").Visible = False
End If
Application.ScreenUpdating = True
Sheets("ボタン表").Select
Range("A1").Select
End Sub
'
' 勘定科目を選択しての画面表示をします
' 画面上から印刷が可能となります
Sub 月次印刷元帳個別新0
    Sheets("ボタン表").Select
    Dim 勘定科目 As Integer
        勘定科目 = Cells(15, 5).Value 'ボタン表の勘定科目の数値をセット
    Dim 勘定科目名 As String
        勘定科目名 = Worksheets("コード表").Cells(勘定科目, 2).Value
If MsgBox(prompt:="科目選択に間違いはないですか。", _
    Title:="科目選択確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
    Sheets("元帳様式").Select
    ActiveSheet.Unprotect
    全空白元帳用
    科目選択 "元帳様式", "元帳月次", 勘定科目
    If Range("O13").Value = 0 Then '検索データがない場合
        'なにもしないで次へいく

```

| | |
|---|--|
| <pre> ElseIf Range("O9").Value = 0 Then 全空白元帳用 MsgBox ("処理する出納簿データはありません。") Else 式入力 "元帳様式", 勘定科目 Range("A2:K8000").Select Selection.Copy Sheets("作業表").Select Range("A2").Select Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _ SkipBlanks:=False, Transpose:=False Range("A1").Select Application.CutCopyMode = False 集計開始 月計算出 Range("B1").Select Selection.CurrentRegion.Select Selection.Copy Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _ False, Transpose:=False Range("A1").Select Application.CutCopyMode = False Range("A1").Select Range("B1").Select Selection.End(xlDown).Select </pre> | <pre> '検索データがあっても数値がない場合 セルO9 '不要データを削除 '以上の2つにあてはまらない場合 'データがあれば残高計算式を入力します '月計と累計が同じになる部分を修正するため '計算された分を作業表に形式を選択して貼り付け(値のみ)転記します 'カーソルを定位置に '小計合計を計算します '小計欄を月計ということ </pre> |
|---|--|


```

ActiveCell.EntireRow.Delete
Range("B1").Select
Worksheets("印刷元帳 1").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名
Worksheets("印刷元帳 2").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名
印刷元帳新 2          '月次も年次も同じ形で印刷できる
Sheets("作業表").Select
集計解除
Range("A2:K8000").Select  '作業後の整理
Selection.Clear
Range("A1").Select
Sheets("元帳様式").Select
Range("A2:K8000").Select
Selection.Clear
Range("A1").Select
End If
End If
Sheets("元帳様式").Select
ActiveSheet.Protect
End Sub

' データカウントのために * を入力したりしています。'
Sub 印刷元帳新 2()
Dim 確認 As Integer
Dim 数量 As Integer
Dim 枚 As Integer

```

```

Dim 印刷枚数 As Integer
Dim counter As Integer
確認 = Worksheets("ボタン表").Cells(20, 5).Value
数量 = Worksheets("印刷元帳 2").Cells(6, 18).Value
For counter = 1 To 数量
    If Cells(counter, 1).Value = "" Then
        Cells(counter, 5).Value = " 合 計  "
        Cells(counter, 2).Value = ""
    End If
Next counter
数量 = 数量 + 10
For counter = 1 To 数量
    If Cells(counter, 5).Value = " 合 計  " Then
        Cells(counter, 1).Select
        ActiveCell.EntireRow.Insert
        Cells(counter, 5).Value = " *  "
        Cells(counter + 2, 1).Select
        ActiveCell.EntireRow.Insert
        Cells(counter + 2, 5).Value = " *  "
        counter = counter + 2
    End If
Next counter
Range("A1").Select
印刷枚数 = Worksheets("印刷元帳 2").Cells(4, 18).Value
For 枚 = 1 To 印刷枚数

```

'ボタン表のセルE 2 0の数値をセット

'印刷元帳のセルR 6の数値をセット

'集計をしたら合計行ではB列以外は空白です

'その行に 合計を表示します

'B列の 計を空白にします

'チェック回数を 10 回多くするため

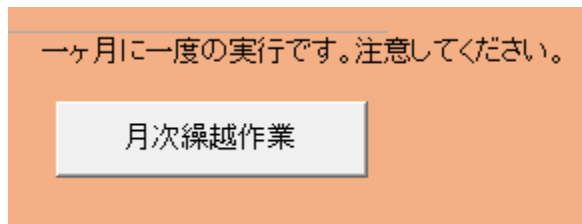
'合計がある行の下に一行を挿入し、* を表示

'印刷元帳 2 のセルR 4 の数値をセット

```
Sheets("印刷元帳 2").Select
Range("R2").Value = 枚
Range("A1").Select
  If 確認 = 2 Then
    Application.ScreenUpdating = True
    ActiveSheet.PrintPreview           'ためすときはプレビューで
    Application.ScreenUpdating = False
  End If
  If 確認 = 1 Then
    ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1   'ほんとのときは印刷を
  End If
Next 枚
Range("A1").Select
End Sub
```

手順その2

- 6 以上の作業で間違いのないことを確認したら、「月次繰越作業」で一区切りです。
- 7 月次繰越作業をしたあとで間違いに気づいたら、メニュー画面にあるように翌月で修正仕訳をしてください。どうしてもそれではいやという場合は {元帳データへ} から修正をしてください。



```
'  
'月次繰越  
'現金出納簿にデータがあることが大前提です  
'  
'
```

Sub 月次繰越 10

Dim 有無 As Integer

有無 = Worksheets("現金出納簿").Cells(3, 4).Value

If 有無 <> 0 Then

印刷月次分

Else

MsgBox ("処理する出納簿データはありません。")

End If

Range("A1").Select

End Sub

- ' 月次更新
- ' 残高試算表・収支決算書・貸借対照表の印刷をします。
- ' 現金出納簿のデータと振替入力簿・複合仕訳表のデータを元帳月次に追加
- ' 並べ替えをしてから元帳データに転記し、その後データの消去

Sub 印刷月次分0

If MsgBox(prompt:="プリンタの準備は OK ですか。途中で止まるとまずいです。(残高試算表は繰越までします) ",_

Title:="プリンタ確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

Sheets("まち").Visible = True

Sheets("まち").Select

Application.ScreenUpdating = True

'この行と下の行は まち を表示させるため追加 2016/5

Application.Wait Time:=Now + TimeValue("00:00:02")

'---2 秒間停止

Application.ScreenUpdating = False

'作業するシートの表示

Sheets("収支決算書").Visible = True

Sheets("残高試算表").Visible = True

Sheets("元帳データ").Visible = True

Sheets("元帳月次").Visible = True

Sheets("作業表 3").Visible = True

Sheets("残高試算表").Select

'残高試算表を一番最初に印刷します

ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1

Sheets("収支決算書").Select

'収支決算書を二番目に印刷します

ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1

Sheets("残高試算表").Select

'当月残高の転記が三番目です

試算表転記

Sheets("現金出納簿").Select

'出納簿の転記作業が四番目になります

'各モジュールを順次実行

月次元帳

'残高試算表の前残を「元帳月次」に作成

月次出納簿転記

'「現金出納簿」を追加

月次入力簿転記

'単一仕訳分を追加

月次複合表転記

月次並替

出納簿転記新

'順番が狂うと内容がおかしくなります

Sheets("現金出納簿").Select

全空白出納簿

Range("A1").Select

Sheets("振替入力表").Select

全空白入力表

Range("A1").Select

Sheets("複合仕訳表").Select

全空白仕訳表

Range("A1").Select

'作業後のシートの非表示

Sheets("収支決算書").Visible = False

Sheets("残高試算表").Visible = False

Sheets("元帳月次").Visible = False

Sheets("作業表 3").Visible = False

Sheets("まち").Visible = False

Application.ScreenUpdating = True

End If

Sheets("ボタン表").Select

Range("A1").Select

End Sub

'複合仕訳分を追加

'「元帳月次」の並べ替え

'「元帳月次」から「元帳データ」へ

'現金出納簿をクリア

'振替入力表をクリア

'複合仕訳表をクリア

' 残高試算表の当月残高を前月残高へ転記します

Sub 試算表転記0

ActiveSheet.Unprotect

Range("H6:I73").Select

'当月残高を別の場所に保管

Selection.Copy

Range("L6").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _

SkipBlanks:=False, Transpose:=False

Range("L6:M73").Select

'当月残高を前月残高とする

Selection.Copy

Range("D6").Select

'値のみ複写

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _

SkipBlanks:=False, Transpose:=False

Range("L6:M73").Select

'別の場所に保管をクリア

Selection.ClearContents

Application.CutCopyMode = False

ActiveSheet.Protect

Range("A1").Select

End Sub

- ' 単独転記 ボタン表には設置していないものです。
- ' ボタン表から月次繰り越しをしないで修正する場合のものです
- ' 元帳データを修正し、出納簿等データを調整し、試算表を一致させるためのものです

Sub 試算表転記20

If MsgBox(prompt:="月次繰り越しの手作業ですよ!", _

The screenshot shows an Excel spreadsheet with columns labeled D, H, and L. The spreadsheet contains a table with multiple rows and columns, likely representing financial data. A yellow vertical bar is visible on the right side of the spreadsheet, possibly indicating a selection or a specific column.

Title:="なんのためにするの。大丈夫", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

試算表転記

End If

Range("A1").Select

End Sub

'月次繰越の一部分

' 月次元帳

' 月次出納簿転記

' 月次入力簿転記

' 月次複合表転記

' 月次並替

' 以上は 新月次元帳にあります

' 出納簿と入力簿のデータが元帳月次に転記整理されてます

' 出納簿転記新

'これを 元帳データ に転記します

Sub 出納簿転記新()

Dim DDV As String

Dim CC As Range

Set CC = Worksheets("元帳データ").Range("P17") '新規転記先頭行数取得

DDV = "A" & CC 'コピーの先頭行セル

Worksheets("元帳月次").Select

Range("A70:J1500").Select

Selection.Copy

Worksheets("元帳データ").Select

以上の項目は 月次繰越 の中で説明 ? ページへ

| | L | M | N | O | P | Q |
|----|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |
| 8 | | | | | | |
| 9 | | | | | | |
| 10 | | | | | | |
| 11 | | | | | | |
| 12 | | | | | | |
| 13 | | | | | | |
| 14 | | | | | | |
| 15 | | | | | | |
| 16 | | | | | | |
| 17 | | | | | | |
| 18 | | | | | | |
| 19 | | | | | | |
| 20 | | | | | | |
| 21 | | | | | | |
| 22 | | | | | | |
| 23 | | | | | | |
| 24 | | | | | | |


```

Range(DDV).Select           '形式を選択して貼り付け 値のみ
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Sheets("元帳データ").Visible = False
Sheets("元帳月次").Select
Application.CutCopyMode = False
Range("A2:J1500").Select    'コピー範囲 50*12*2=1200 が最高件数です
Selection.Clear
Range("A1").Select
End Sub

```

年分元帳一括確認印刷

' 年分元帳一括確認印刷のマクロです。月次元帳確認印刷のような出納簿データの確認は不要。
データ転記なども不要。「元帳データ」の処理確認印刷。

月次の Sub 月次印刷元帳連続新() の部分だけみたいなもの。

Sub 印刷元帳連続新()

```

Sheets("ボタン表").Select
Dim 勘定科目 As Integer
    勘定科目 = 0
Dim 勘定科目名 As String
    勘定科目名 = ""
If MsgBox(prompt:="プリンタの準備は OK ですか。", _
    Title:="プリンタ確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
Sheets("まち").Visible = True
Sheets("まち").Select
Application.ScreenUpdating = True    '上の行とこの行は 2016/5 追加

```

Application.Wait Time:=Now + TimeValue("00:00:02") '---2 秒間停止
 Application.ScreenUpdating = False
 Sheets("元帳様式").Visible = True 作業前の準備 表示する
 Sheets("元帳データ").Visible = True
 Sheets("作業表").Visible = True
 Sheets("印刷元帳 1").Visible = True
 Sheets("印刷元帳 2").Visible = True
 Sheets("元帳様式").Select

ActiveSheet.Unprotect

For 勘定科目 = 2 To 68 '資産 21 負債 14 収入 3 支出 30

勘定科目名 = Worksheets("コード表").Cells(勘定科目, 2).Value

全空白元帳用

科目選択 "元帳様式", "元帳データ", 勘定科目

If Range("O13").Value = 0 Then '検索データがない場合

ElseIf Range("P9").Value = 0 Then

全空白元帳用

Else

式入力 "元帳様式", 勘定科目

Range("A2:K8000").Select

Selection.Copy

Sheets("作業表").Select

Range("A2").Select

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _

SkipBlanks:=False, Transpose:=False

'なんもしないで次へいく

'検索データがあっても数値がない場合 セルP 9
 '不要データを削除
 '以上の2つにあてはまらない場合

'データがあれば残高計算式を入力します

'計算された分を大きく行をとる

月次元帳より行の範囲が広いです

'作業表に転記します

'月計と累計が同じになる部分を

'計算された分を作業表に形式を選択して貼り付け(値のみ)転記します

| | L | M | N | O | P | Q |
|----|-------|------|--------------------|-----------------------|------|------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | この表は保護がしてありません。注意してく | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | MENUへ | | | 下のデータを壊したらこのファイルは捨ててく | | |
| 5 | | | | この表からは必ず作業終了ボタンから戻って | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | 注意--- | ---- | ---- | ---- | ---- | ---- |
| 8 | | | | 月元帳 | 年元帳 | |
| 9 | 9 | | (数値) | 0 | 0 | |
| 10 | 10 | | セルI2+J2+I3+J3のチェック | | | |
| 11 | 11 | | | | | |
| 12 | 12 | | 元帳簿のいまあるデータ | | 先頭行 | 最終行 |
| 13 | 13 | | (データ数) | 0 | 2 | |
| 14 | 14 | | 月の欄(月別)で表示されています | | | |

| | |
|---|--------------------------|
| Range("A1").Select | 'カーソルを定位置に |
| Application.CutCopyMode = False | |
| If 勘定科目 < 36 Then | '資産負債勘定 |
| Range("I2:J2").Clear | |
| End If | |
| 集計開始 | '小計合計を計算します |
| Range("B1").Select | 'SUBTOTAL があるので、この式をけすため |
| Selection.CurrentRegion.Select | '選択範囲全体をコピーして値のみに貼り付ける |
| Selection.Copy | |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _ | |
| False, Transpose:=False | |
| Range("A1").Select | |
| Application.CutCopyMode = False | |
| Range("A1").Select | |
| Range("B1").Select | 'そして一番最後の行を削除する |
| Selection.End(xlDown).Select | |
| ActiveCell.EntireRow.Delete | |
| Range("B1").Select | |
| Worksheets("印刷元帳 1").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名 | |
| Worksheets("印刷元帳 2").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名 | |
| 印刷元帳新 1 勘定科目 | '変数を引き継ぐ 実際の印刷はここで |
| Sheets("作業表").Select | |
| 集計解除 | |
| Range("A2:K8000").Select | '作業後の表をきれいにする |
| Selection.Clear | |

```

Range("A1").Select
Sheets("元帳様式").Select
Range("A2:K8000").Select
Selection.Clear
Range("A1").Select
End If
Next 勘定科目
Sheets("元帳様式").Select
ActiveSheet.Protect
Sheets("元帳データ").Visible = False
Sheets("元帳様式").Visible = False
Sheets("作業表").Visible = False
Sheets("まち").Visible = False
Sheets("印刷元帳 1").Visible = False
Sheets("印刷元帳 2").Visible = False
End If
Sheets("ボタン表").Select
Range("A1").Select
Application.ScreenUpdating = True
End Sub

' 作業表でデータがきれいになるように空白をあけたり、
' データカウントのために * を入力したりしています。
Sub 印刷元帳新 1(勘定科目)
Dim 確認 As Integer

```

'作業後の表をきれいにする

年次元帳連続印刷終了

作業後の後始末 非表示にする

```

Dim 数量 As Integer
Dim 枚 As Integer
Dim 印刷枚数 As Integer
Dim counter As Integer
確認 = Worksheets("ボタン表").Cells(20, 5).Value
数量 = Worksheets("印刷元帳 1").Cells(6, 18).Value
For counter = 1 To 数量
    If Cells(counter, 1).Value = "" Then
        Cells(counter, 5).Value = " 合 計  "
        Cells(counter, 2).Value = ""
    End If
Next counter
数量 = 数量 + 24
For counter = 1 To 数量
    If Cells(counter, 5).Value = " 合 計  " Then
        Cells(counter, 1).Select
        ActiveCell.EntireRow.Insert
        Cells(counter, 5).Value = " *  "
        Cells(counter + 2, 1).Select
        ActiveCell.EntireRow.Insert
        Cells(counter + 2, 5).Value = " *  "
        Cells(counter + 2, 7).Value = "          前月繰越  "
        Cells(counter + 2, 11).Value = Cells(counter - 1, 11).Value
        counter = counter + 2
    End If

```

'ボタン表のセルE 2 0の数値をセット

'印刷元帳のセルR 6の数値をセット

'集計をしたら合計行ではB列以外は空白です

'その行に 合計を表示します

'B列の 計を空白にします

'チェック回数を多くするため

'合計がある行に一行を挿入し、* を表示

'合計がある行の下に一行を挿入し、* を表示

'「前月繰越」を表記

'「繰越金額」を表示させる

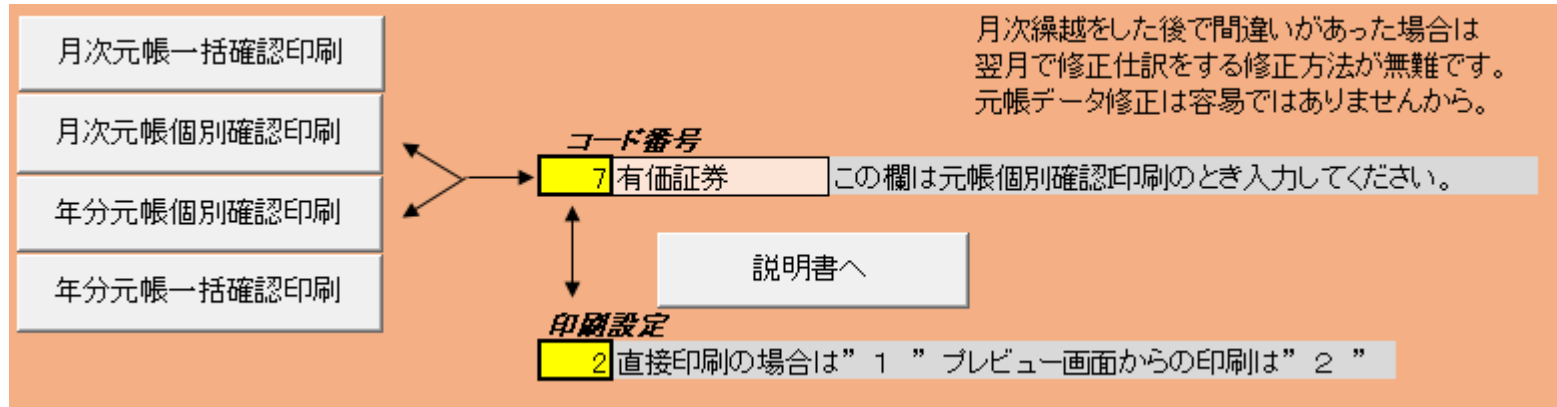
| | |
|--|------------------------------|
| Next counter | |
| Range("A1").Select | |
| Range("E1").Select | |
| Selection.End(xlDown).Select | 'そして一番最後の行、そしてもう一行を削除する |
| ActiveCell.EntireRow.Delete | |
| ' ActiveCell.EntireRow.Delete | |
| Range("E1").Select | |
| Range("A1").Select | |
| 印刷枚数 = Worksheets("印刷元帳 1").Cells(4, 18).Value | '印刷元帳 1 のセル R 4 の数値をセット |
| For 枚 = 1 To 印刷枚数 | |
| If 勘定科目 < 36 Then | '資産負債と収入支出では前期繰越の有無で印刷様式が異なる |
| Sheets("印刷元帳 2").Select | '資産負債勘定 |
| End If | |
| If 勘定科目 > 35 Then | '収入支出勘定 |
| Sheets("印刷元帳 1").Select | |
| End If | |
| Range("R2").Value = 枚 | |
| Range("A1").Select | |
| If 確認 = 2 Then | |
| Application.ScreenUpdating = True | |
| ActiveSheet.PrintPreview | 'ためすときはプレビューで |
| Application.ScreenUpdating = False | |
| End If | |
| If 確認 = 1 Then | |

```

ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1
End If
Next 枚
Range("A1").Select
End Sub

```

'ほとんどのときは印刷を



年分元帳個別確認印刷 ' 年分元帳個別確認印刷のマクロです。

Sub 印刷元帳個別新()

```

' Sheets("ボタン表").Select
  Dim 勘定科目 As Integer
    勘定科目 = Cells(15, 5).Value 'ボタン表の勘定科目の数値をセット
  Dim 勘定科目名 As String '2001/3/1 追加

```

| | |
|--|-----------------------|
| 勘定科目名 = Worksheets("コード表").Cells(勘定科目, 2).Value | '2001/3/1 追加 |
| If MsgBox(prompt:="科目選択に間違いはないですか。", _ | |
| Title:="科目選択確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then | |
| Sheets("まち").Visible = True | |
| Sheets("まち").Select | |
| Application.ScreenUpdating = True | '上の行とこの行は 2016/5 追加 |
| Application.Wait Time:=Now + TimeValue("00:00:02") | '---2 秒間停止 |
| Application.ScreenUpdating = False | |
| Sheets("元帳データ").Visible = True | 作業前に使うシートを 表示 する |
| Sheets("元帳様式").Visible = True | |
| Sheets("作業表").Visible = True | |
| Sheets("印刷元帳 1").Visible = True | |
| Sheets("印刷元帳 2").Visible = True | |
| Sheets("元帳様式").Select | |
| ActiveSheet.Unprotect | |
| 全空白元帳用 | '元帳の部分を空白にします |
| 科目選択 "元帳様式", "元帳データ", 勘定科目 | 'オートフィルで科目を選択し、転記します |
| If Range("O13").Value = 0 Then | '選択された科目のデータ数をチェックします |
| MsgBox ("選択された科目にデータはありません。") | '検索されたデータがなにもない場合です |
| Sheets("元帳データ").Visible = False | |
| Sheets("元帳様式").Visible = False | |
| Sheets("作業表").Visible = False | |
| Sheets("まち").Visible = False | |
| Sheets("印刷元帳 1").Visible = False | |
| Sheets("印刷元帳 2").Visible = False | |


```
Sheets("ボタン表").Select
Range("A1").Select
ElseIf Range("P9").Value = 0 Then
```

全空白元帳用

```
MsgBox ("選択された科目にデータはありません。")
```

```
Sheets("元帳データ").Visible = False
```

```
Sheets("元帳様式").Visible = False
```

```
Sheets("作業表").Visible = False
```

```
Sheets("まち").Visible = False
```

```
Sheets("印刷元帳 1").Visible = False
```

```
Sheets("印刷元帳 2").Visible = False
```

```
Sheets("ボタン表").Select
```

```
Range("A1").Select
```

```
Else
```

```
式入力 "元帳様式", 勘定科目
```

```
Range("A2:K8000").Select
```

```
Selection.Copy
```

```
Sheets("作業表").Select
```

```
Range("A2").Select
```

```
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
```

```
SkipBlanks:=False, Transpose:=False
```

```
Range("A1").Select
```

```
Application.CutCopyMode = False
```

```
If 勘定科目 < 36 Then
```

'検索されたデータがあっても期首（繰越）残高とそれに
'つづくデータが何もない場合です セル P9 でチェック
'検索されたデータを消してから MSG の表示です

'データがあれば残高計算式を入力します

'計算された分を大きく行をとる

'作業表に転記します

'月計と累計が同じになる部分を

'計算された分を作業表に形式を選択して貼り付け(値のみ)転記します

'カーソルを定位置に

'資産負債勘定

```

Range("I2:J2").Clear
End If
集計開始
Range("B1").Select
Selection.CurrentRegion.Select
Selection.Copy
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _
    False, Transpose:=False
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
Range("A1").Select
Range("B1").Select
Selection.End(xlDown).Select
ActiveCell.EntireRow.Delete
Range("B1").Select
Worksheets("印刷元帳 1").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名
Worksheets("印刷元帳 2").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名
印刷元帳新 1 勘定科目
Sheets("作業表").Select
集計解除
Range("A2:K8000").Select
Selection.Clear
Range("A1").Select
Sheets("元帳様式").Select
Range("A2:K8000").Select

```

```

'小計合計を計算します
'SUBTOTAL があるので、この式をけすため
'全体をコピーして値のみに貼り付ける

'そして一番最後の行を削除する

'変数を引き継ぐ

'作業後の表をきれいにする

'作業後の表をきれいにする

```

```
Selection.Clear
Range("A1").Select
Sheets("元帳データ").Visible = False
Sheets("作業表").Visible = False
Sheets("元帳様式").Select
ActiveSheet.Protect
Sheets("元帳様式").Visible = False
Sheets("印刷元帳 1").Visible = False
Sheets("印刷元帳 2").Visible = False
Sheets("まち").Visible = False
End If
End If
Sheets("ボタン表").Select
Range("A1").Select
Application.ScreenUpdating = True
End Sub
```

作業後の後始末 非表示にする

"ボタン表のフォームボタンの設置はありません。

' 作業前に実施'

Sub 開く A0

Sheets("ボタン表").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("現金出納簿").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("振替入力表").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("複合仕訳表").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("振替入力簿").Visible = True

Sheets("振替入力簿").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("設定表").Visible = True

Sheets("設定表").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("残高試算表").Visible = True

Sheets("残高試算表").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("期首残高 2").Visible = True

Sheets("期首残高 2").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("収支決算書").Visible = True

Sheets("収支決算書").Select

```
ActiveSheet.Unprotect
Sheets("期首残高").Visible = True
Sheets("期首残高").Select
ActiveSheet.Unprotect
Sheets("元帳データ").Visible = True
Sheets("元帳月次").Visible = True
Sheets("まち").Visible = True
Sheets("コード表").Visible = True
Sheets("コード表印刷").Visible = True
Sheets("作業表 3").Visible = True
Sheets("作業表").Visible = True
Sheets("印刷元帳 1").Visible = True
Sheets("印刷元帳 2").Visible = True
Sheets("印刷出納").Visible = True
Sheets("印刷振替 1").Visible = True
Sheets("印刷振替 2").Visible = True
Sheets("説明書").Visible = True
Sheets("説明書").Select
ActiveSheet.Unprotect
Sheets("利用方法").Visible = True
Sheets("利用方法").Select
ActiveSheet.Unprotect
End Sub
```

"ボタン表のフォームボタンの設置はありません。

' 作業後に実施

Sub 開く B0

Sheets("ボタン表").Select

ActiveSheet.Protect

Sheets("現金出納簿").Select

ActiveSheet.Protect

Sheets("振替入力表").Select

ActiveSheet.Protect

Sheets("複合仕訳表").Select

ActiveSheet.Protect

Sheets("振替入力簿").Select

ActiveSheet.Protect

Sheets("振替入力簿").Visible = False

Sheets("設定表").Select

ActiveSheet.Protect

Sheets("設定表").Visible = False

Sheets("残高試算表").Select

ActiveSheet.Protect

Sheets("残高試算表").Visible = False

Sheets("期首残高 2").Select

ActiveSheet.Protect

Sheets("期首残高 2").Visible = False

Sheets("収支決算書").Select

ActiveSheet.Protect

```
Sheets("収支決算書").Visible = False
Sheets("期首残高").Select
ActiveSheet.Protect
Sheets("期首残高").Visible = False
Sheets("元帳データ").Visible = False
Sheets("元帳様式").Visible = False
Sheets("まち").Visible = False
Sheets("コード表").Visible = False
Sheets("コード表印刷").Visible = False
Sheets("元帳月次").Visible = False
Sheets("作業表 3").Visible = False
Sheets("作業表").Visible = False
Sheets("印刷元帳 1").Visible = False
Sheets("印刷元帳 2").Visible = False
Sheets("印刷出納").Visible = False
Sheets("印刷振替 1").Visible = False
Sheets("印刷振替 2").Visible = False
Sheets("説明書").Select
ActiveSheet.Protect
Sheets("説明書").Visible = False
Sheets("利用方法").Select
ActiveSheet.Protect
Sheets("利用方法").Visible = False
End Sub
```

コード表印刷

一覧表印刷

'印刷範囲設定

'設定されている範囲を印刷します。

Sub 印刷設定()

 If MsgBox(prompt:="プリンタの準備は OK ですか。", _

 Title:="プリンタ確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

 ActiveWindow.SelectedSheets.PrintOut Copies:=1

 End If

 Range("A1").Select

End Sub

"ボタン表のフォームボタンの設置はいまはありません。"

'作業終了時の確認です。

Sub 登録()

 ans = MsgBox("保存しますか?", vbYesNo)

 If ans = vbYes Then

 ActiveWorkbook.Save

 End If

 ans = MsgBox("Excelを終了しますか?", vbYesNo)

 If ans = vbYes Then

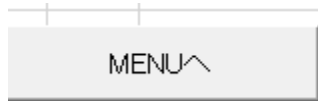
 Application.Quit

 End If

End Sub

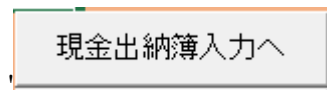
' オープン画面指定

```
Sub AUTO_OPEN()  
    Sheets("ボタン表").Select  
    Range("A1").Select  
End Sub
```



'現在の表をプロテクトせずに非表示にしてボタン表へ行く

```
Sub 元に戻る()  
    Application.ScreenUpdating = False  
    ActiveWindow.SelectedSheets.Visible = False  
    Sheets("ボタン表").Select  
    Range("A1").Select  
    Application.ScreenUpdating = True  
End Sub
```



'各表への移動

```
Sub go 出納簿()  
    Application.ScreenUpdating = False  
    Sheets("現金出納簿").Select  
    Range("A1").Select  
    Application.ScreenUpdating = True  
End Sub
```

"ボタン表のフォームボタンの設置はいまはありません。

'各表への移動

Sub go 入力簿()

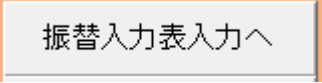
```
Application.ScreenUpdating = False
```

```
Sheets("振替入力簿").Select
```

```
Range("A1").Select
```

```
Application.ScreenUpdating = True
```

End Sub



振替入力表入力へ

'各表への移動

Sub go 入力表()

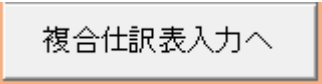
```
Application.ScreenUpdating = False
```

```
Sheets("振替入力表").Select
```

```
Range("A1").Select
```

```
Application.ScreenUpdating = True
```

End Sub



複合仕訳表入力へ

'各表への移動

Sub go 仕訳表()

```
Application.ScreenUpdating = False
```

```
Sheets("複合仕訳表").Select
```

```
Range("A1").Select
```

```
Application.ScreenUpdating = True
```

End Sub '

期首残高入力へ

'各表への移動

'Sub go 期首残高()

Application.ScreenUpdating = False

Sheets("期首残高").Visible = True

Sheets("期首残高").Select

Range("A1").Select

Application.ScreenUpdating = True

End Sub

残高試算表確認へ

'各表への移動

Sub go 残高試算表()

Application.ScreenUpdating = False

Sheets("残高試算表").Visible = True

Sheets("残高試算表").Select

Range("A1").Select

Application.ScreenUpdating = True

End Sub

'ボタン表のフォームボタンの設置はいまはありません。

'各表への移動

Sub go 元帳()

Application.ScreenUpdating = False

```
Sheets("元帳様式").Visible = True
Sheets("元帳様式").Select
ActiveSheet.Unprotect
Range("A1").Select
Application.ScreenUpdating = True
```

End Sub

説明書へ

'各表への移動

Sub go 説明書()

```
Application.ScreenUpdating = False
Sheets("説明書").Visible = True
Sheets("説明書").Select
Range("A1").Select
Application.ScreenUpdating = True
```

End Sub

設定表へ

'各表への移動

Sub go 設定表()

```
Application.ScreenUpdating = False
Sheets("設定表").Visible = True
Sheets("設定表").Select
Range("A1").Select
Application.ScreenUpdating = True
```

End Sub

収支決算書確認へ

'各表への移動

Sub go 決算書()

Application.ScreenUpdating = False

Sheets("収支決算書").Visible = True

Sheets("収支決算書").Select

Range("A1").Select

Application.ScreenUpdating = True

End Sub

元帳データへ

'各表への移動

Sub go 合計表()

Application.ScreenUpdating = False

Sheets("元帳データ").Visible = True

Sheets("元帳データ").Select

Range("A1").Select

Application.ScreenUpdating = True

End Sub

'各表への移動

Sub go ボタン表0

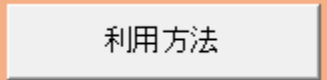
```
Application.ScreenUpdating = False
```

```
Sheets("ボタン表").Select
```

```
Range("A1").Select
```

```
Application.ScreenUpdating = True
```

End Sub



利用方法

'各表への移動

Sub go 利用方法0

```
Application.ScreenUpdating = False
```

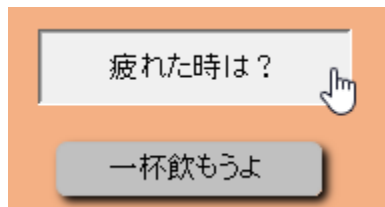
```
Sheets("利用方法").Visible = True
```

```
Sheets("利用方法").Select
```

```
Range("A1").Select
```

```
Application.ScreenUpdating = True
```

End Sub



```
'これはおまけです。  
'エクセル 2007 以降うまく表示されなかったが  
'今回 2 行追加で表示できた
```

```
Sub うらない()
```

```
    Dim I As Integer, j As Integer
```

```
    Dim 占い(10) As String
```

```
    Dim 色 As Integer
```

```
    占い(1) = "にっこり笑おう"
```

```
    占い(2) = "早く休もう"
```

```
    占い(3) = "一杯飲もうよ"
```

```
    占い(4) = "泣いてもいいよ"
```

```
    占い(5) = "(#^.^#)"
```

Rnd 関数

Rnd 関数は、0 以上 1 未満の値を返します。

```
I = Int(10 * Rnd) + 1      1 から 10 まで
```

```
j = Int(50 * Rnd) + 2
```

```

占い(6) = "旅に出ようか"
占い(7) = "思いっきり笑おう"
占い(8) = "単調はいやだね"
占い(9) = "仕事やめちゃおか"
占い(10) = "ファイト 一発！"
I = Int(10 * Rnd) + 1
j = Int(50 * Rnd) + 2
ActiveSheet.Unprotect
ActiveSheet.TextBoxes.Add(650, 150, 100, 20).Select
With Selection
    .HorizontalAlignment = xlCenter
    .VerticalAlignment = xlCenter
    .Characters.Text = 占い(I)
    .Interior.ColorIndex = j
    .Shadow = True
    .RoundedCorners = True
End With
Range("A1").Select      'テキストボックスが選択されたままは見苦しい
Application.ScreenUpdating = True    '上の行とこの行は 2016/5 追加
Application.Wait Time:=Now + TimeValue("00:00:02") '---2 秒間停止
ActiveSheet.TextBoxes.Delete
ActiveSheet.Protect
Range("A1").Select
End Sub

```

```
ActiveSheet.TextBoxes.Add(650, 150, 100, 20).Select
```

新しいテキストボックスを作成します。

```
AddTextbox(Left, Top, Width, Height)
```

Left テキストボックスの左端位置を指定 [省略不可]

Top テキストボックスの上端位置を指定 [省略不可]

Width テキストボックスの幅を指定 [省略不可]

Height テキストボックスの高さを指定 [省略不可]

毎月の元帳印刷が勿体ないと思われる場合はシート「期首残高2」を再表示させて、まとめ印刷を試してみてください。**要注意。**

'このファイルは毎月毎月処理するものですが、毎月の元帳打ち出しもいいのですが、'データが少ないとちょっと無駄が多いなと思ってしまいます。'最初の数ヶ月分は今ままでいいのですが、例えば3月までまとめて打ち出しをします。'次は4、5、6の3ヶ月毎にしたいなと思った時に、この部分を利用します。'

'これは、手作業部分が必要ですから表面にはしばらくごめません。

作成する月の期首データをここに入力し、{転記ボタン}シート「元帳データ」に行きます。70行目から1月分のデータがあるはずですが。

作成済の前の不要なデータを行単位で削除します。

そして、この表に戻り、「作業開始」ボタンを押します。

この作業をしたファイルは保存しないで、作業を終了してください。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U |
|----|-----|----|----|----|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 年月日 | 科目 | 摘要 | 借 | 貸 | 借 | 貸 | 借 | 貸 | 借 | 貸 | | | | | | | | | | |
| 2 | | 1 | 現金 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 0 | 0 | 1 | 2 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 0 | 0 | 1 | 3 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 0 | 0 | 1 | 4 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 0 | 0 | 1 | 5 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 0 | 0 | 1 | 6 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 0 | 0 | 1 | 7 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 0 | 0 | 1 | 8 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 0 | 0 | 1 | 9 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 0 | 0 | 1 | 10 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 0 | 0 | 1 | 11 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 0 | 0 | 1 | 12 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 0 | 0 | 1 | 13 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 0 | 0 | 1 | 14 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 0 | 0 | 1 | 15 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 0 | 0 | 1 | 16 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 0 | 0 | 1 | 17 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 0 | 0 | 1 | 18 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 0 | 0 | 1 | 19 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 0 | 0 | 1 | 20 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 0 | 0 | 1 | 21 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 0 | 0 | 1 | 22 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 0 | 0 | 1 | 23 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 0 | 0 | 1 | 24 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 0 | 0 | 1 | 25 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | 0 | 0 | 1 | 26 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 0 | 0 | 1 | 27 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 0 | 0 | 1 | 28 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 0 | 0 | 1 | 29 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | 0 | 0 | 1 | 30 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 0 | 0 | 1 | 31 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | 0 | 0 | 1 | 32 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 0 | 0 | 1 | 33 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 | 0 | 0 | 1 | 34 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | 0 | 0 | 1 | 35 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | 0 | 0 | 1 | 36 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | 0 | 0 | 1 | 37 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | 0 | 0 | 1 | 38 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | 0 | 0 | 1 | 39 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 41 | 0 | 0 | 1 | 40 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | 0 | 0 | 1 | 41 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | 0 | 0 | 1 | 42 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 44 | 0 | 0 | 1 | 43 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 45 | 0 | 0 | 1 | 44 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 46 | 0 | 0 | 1 | 45 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 47 | 0 | 0 | 1 | 46 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 48 | 0 | 0 | 1 | 47 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 49 | 0 | 0 | 1 | 48 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50 | 0 | 0 | 1 | 49 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 51 | 0 | 0 | 1 | 50 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 52 | 0 | 0 | 1 | 51 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 53 | 0 | 0 | 1 | 52 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 54 | 0 | 0 | 1 | 53 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 55 | 0 | 0 | 1 | 54 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 56 | 0 | 0 | 1 | 55 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 57 | 0 | 0 | 1 | 56 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 58 | 0 | 0 | 1 | 57 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 59 | 0 | 0 | 1 | 58 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60 | 0 | 0 | 1 | 59 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 61 | 0 | 0 | 1 | 60 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 62 | 0 | 0 | 1 | 61 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 63 | 0 | 0 | 1 | 62 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 64 | 0 | 0 | 1 | 63 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65 | 0 | 0 | 1 | 64 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 66 | 0 | 0 | 1 | 65 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 67 | 0 | 0 | 1 | 66 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 68 | 0 | 0 | 1 | 67 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 69 | 0 | 0 | 1 | 68 | 高橋様金 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70 | | | | | 合計 | | | | 0 | 0 | | | | | | | | | | | |
| 71 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

作成する月の期首データをここに入力し、「転記ボタン」シート「元帳データ」に行きます。70行目から1月分のデータがあるはずですが。

作成済の前の不要なデータを行単位で削除します。

そして、この表に戻り、「作業開始」ボタンを押します。

この作業をしたファイルは保存しないで、作業を終了してください。

毎月の元帳印刷が勿体ないと思われる場合はシート「期首残高2」を再表示させて、まとめ印刷を試してみてください。**要注意。**

データクリア

' 期首残高 2 の残高試算表のクリア

Sub クリア()

```
Range("A2:B2").Select
Selection.ClearContents
Range("I2:I22").Select
Selection.ClearContents
Range("J23:J39").Select
Selection.ClearContents
Range("I40:I69").Select
Selection.ClearContents
Range("A2").Select
```

End Sub

転記ボタン

' 期首入力されたデータを「元帳データ」に転記します。

' チェックを最初にしよう。

Sub 転記期首 2()

```
Dim n As Integer                                '年月の記入漏れチェック 2001/3/1 追加
n = Cells(2, 1).Value * Cells(2, 2).Value
If n = 0 Then                                    '年月の記入漏れチェック 2001/3/1 追加
MsgBox "年月が入力されてません。もう一度"
Exit Sub
```

```

End If
If MsgBox(prompt:="転記作業を開始しますか。", _
    Title:="データを再度確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then
    Sheets("元帳データ").Visible = True
    Sheets("期首残高 2").Select           '期首残高全体をコピー
    Range("A2:J69").Select               '「元帳データ」に転記      (要変更 2003/9)
    Selection.Copy                       ' (形式を選択して貼り付け, 値のみ)
    Sheets("元帳データ").Select
    Range("A2").Select
    Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
        SkipBlanks:=False, Transpose:=False
    Range("A1").Select
    Sheets("期首残高 2").Select           'コピーモード解除
    Application.CutCopyMode = False
    Sheets("元帳データ").Select
    Range("A1").Select
End If
End Sub

```

元帳データ修正.....

'各表への移動

Sub go 合計表()

Application.ScreenUpdating = False

Sheets("元帳データ").Visible = True

Sheets("元帳データ").Select

Range("A1").Select

Application.ScreenUpdating = True

End Sub

,

作業開始

' 印刷元帳連続新の応用です。

Sub 印刷元帳連続新 2()

Sheets("ボタン表").Select

Dim 勘定科目 As Integer

勘定科目 = 0

Dim 勘定科目名 As String

勘定科目名 = ""

'2001/3/1 追加

If MsgBox(prompt:="プリンタの準備は OK ですか。", _

Title:="プリンタ確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

'MsgBox ("準備はよろしいですか")

Sheets("まち").Visible = True

Sheets("まち").Select

| | |
|--|---------------------------------------|
| Application.ScreenUpdating = False | |
| Sheets("元帳様式").Visible = True | |
| Sheets("元帳データ").Visible = True | |
| Sheets("作業表").Visible = True | |
| Sheets("印刷元帳 1").Visible = True | '2004/4 追加 |
| Sheets("印刷元帳 2").Visible = True | '2004/4 追加 |
| Sheets("元帳様式").Select | |
| ActiveSheet.Unprotect | |
| For 勘定科目 = 2 To 68 | '資産 21 負債 14 収入 3 支出 30 (要変更 2003/9) |
| 勘定科目名 = Worksheets("コード表").Cells(勘定科目, 2).Value | '2001/3/1 追加 |
| 全空白元帳用 | |
| 科目選択 "元帳様式", "元帳データ", 勘定科目 | |
| If Range("データ数").Value = 0 Then | '検索データがない場合 |
| | 'なにもしないで次へいく |
| ElseIf Range("数値").Value = 0 Then | '検索データがあっても数値がない場合 セル O9 でチェック |
| 全空白元帳用 | '不要データを削除 |
| Else | '以上の2つにあてはまらない場合 |
| 式入力 "元帳様式", 勘定科目 | 'データがあれば残高計算式を入力します |
| Range("A2:K8000").Select | '99/4 追加変更 計算された分を もっと大きく行をとる必要があった |
| Selection.Copy | '作業表に転記します 00/4 1000 から 8000 にする以下3箇所 |
| Sheets("作業表").Select | '月計と累計が同じになる部分を |
| Range("A2").Select | '計算された分を作業表に形式を選択して貼り付け(値のみ)転記します |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _ | |
| SkipBlanks:=False, Transpose:=False | |
| Range("A1").Select | 'カーソルを定位置に |

| | |
|--|--------------------------|
| Application.CutCopyMode = False | |
| Range("I2:J2").Clear | '2004/5 追加 |
| 集計開始 '小計合計を計算します | |
| Range("B1").Select | 'SUBTOTAL があるので、この式をけすため |
| Selection.CurrentRegion.Select | '全体をコピーして値のみに貼り付ける |
| Selection.Copy | |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks:= _ False, Transpose:=False | |
| Range("A1").Select | |
| Application.CutCopyMode = False | |
| Range("A1").Select | |
| Range("B1").Select | 'そして一番最後の行を削除する |
| Selection.End(xlDown).Select | |
| ActiveCell.EntireRow.Delete | |
| Range("B1").Select | |
| Worksheets("印刷元帳 1").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名 | '2004/04/28 追加 |
| Worksheets("印刷元帳 2").Cells(2, 7).Value = 勘定科目名 | '2004/04/28 追加 |
| 印刷元帳新 3 | '月次元帳と同じやり方でいいはずだ |
| Sheets("作業表").Select | '2004/04/28 追加 |
| 集計解除 | |
| Range("A2:K8000").Select | '作業後の表をきれいにする |
| Selection.Clear | |
| Range("A1").Select | |
| Sheets("元帳様式").Select | '作業後の表をきれいにする |
| Range("A2:K8000").Select | |

```

        Selection.Clear
        Range("A1").Select
    End If
Next 勘定科目
    Sheets("元帳様式").Select
    ActiveSheet.Protect
    Sheets("元帳データ").Visible = False
    Sheets("元帳様式").Visible = False
    Sheets("作業表").Visible = False
    Sheets("まち").Visible = False
    Sheets("印刷元帳 1").Visible = False      '2004/4 追加
    Sheets("印刷元帳 2").Visible = False      '2004/4 追加
End If
    go ボタン表
    Application.ScreenUpdating = True        '2004/4 追加
End Sub

```

' 年の途中でバージョンアップするときのためのもの

Sub 転記全部()

If MsgBox(prompt:="旧バージョン分のデータをこのファイルに取り込みます。", _

Title:="準備確認", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

MsgBox "転記に関する説明はよく読みましたね。順番に実行しないと良い結果は得られません。

If MsgBox(prompt:="くどいですが、もう一度確認します。本当に準備はちゃんとしましたね。", _

Title:="もう一度中止して確認してください。", Buttons:=vbOKCancel) = vbOK Then

'全部で 6 枚の表からの転記が必要になります。

'5 枚の表を表示し (Visible = True)、書き込み可能(Unprotect)とします。

Sheets("ボタン表").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("設定表").Visible = True

Sheets("設定表").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("残高試算表").Visible = True

Sheets("残高試算表").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("収支決算書").Visible = True

Sheets("収支決算書").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("期首残高").Visible = True

Sheets("期首残高").Select

ActiveSheet.Unprotect

Sheets("元帳データ").Visible = True

Sheets("元帳データ").Select

データ転記ボタン
各勘定科目
期首データ
元帳データ

出納簿は転記しません。
入力表は転記しません。
仕訳表は転記しません。

'次は転記される元のファイルのデータのことです。

```
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
```

```
Workbooks(1).Activate
```

```
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
```

```
Sheets("設定表").Visible = True
```

```
Sheets("残高試算表").Visible = True
```

```
Sheets("収支決算書").Visible = True
```

```
Sheets("期首残高").Visible = True
```

```
Sheets("元帳データ").Visible = Tru
```

'転記作業その 1

```
Sheets("ボタン表").Select
```

```
Range("H3").Select
```

```
Selection.Copy
```

```
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
```

```
Workbooks(2).Activate
```

```
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
```

```
Sheets("ボタン表").Select
```

```
Range("H3").Select
```

```
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
```

```
SkipBlanks:=False, Transpose:=False
```

```
Application.CutCopyMode = False
```

```
Range("A1").Select
```

'転記作業その 2

```
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
```

```
Workbooks(1).Activate
```

'今開いているファイルを小さくします。

'1 番目に開いたファイルをアクティブに

'そのファイルを大きくします。

'会計の名称

'今開いているファイルを小さくします。

'2 番目に開いたファイルをアクティブに

'そのファイルを大きくします。

'会計の名称

'形式を選択して貼り付け 値のみ

'科目名や摘要欄など全部

'ファイルを小さくします。

'1 番目に開いたファイルをアクティブに

```
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
Sheets("設定表").Select
Range("B2:AC56").Select
```

```
Selection.Copy
```

```
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
Workbooks(2).Activate
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
Sheets("設定表").Select
Range("B2").Select
```

```
Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
SkipBlanks:=False, Transpose:=False
```

```
Range("A1").Select
```

```
Application.CutCopyMode = False
```

```
'転記作業その3
```

```
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
Workbooks(1).Activate
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
Sheets("残高試算表").Select
Range("D6:E73").Select
```

```
Selection.Copy
```

```
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
Workbooks(2).Activate
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
```

'ファイルを大きくします。
'科目名や摘要欄など全部
'ずいぶん無茶なコピー方法です
'手抜きもいいところ

'ファイルを小さくします。
'2番目に開いたファイルをアクティブに
'ファイルを大きくします

'形式を選択して貼り付け 値のみ

'カーソルを定位置に

' 残高試算表

'ファイルを小さくします。
'1番目に開いたファイルをアクティブに
'ファイルを大きくします。
'借方・貸方同時にコピー

'ファイルを小さくします。
'2番目に開いたファイルをアクティブに
'ファイルを大きくします。

| | |
|--|----------------------|
| Sheets("残高試算表").Select | |
| Range("D6").Select | '形式を選択して貼り付け 値のみ |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _ | |
| SkipBlanks:=False, Transpose:=False | |
| Range("A1").Select | 'カーソルを定位置に |
| Application.CutCopyMode = False | |
| '転記作業その 4-3-1 | ' 収支決算書 |
| ActiveWindow.WindowState = xlMinimized | 'ファイルを小さくします。 |
| Workbooks(1).Activate | '1 番目に開いたファイルをアクティブに |
| ActiveWindow.WindowState = xlMaximized | 'ファイルを大きくします |
| Sheets("収支決算書").Select | '収入の予算 |
| Range("D5:D7").Select | |
| Selection.Copy | |
| ActiveWindow.WindowState = xlMinimized | 'ファイルを小さくします。 |
| Workbooks(2).Activate | '2 番目に開いたファイルをアクティブに |
| ActiveWindow.WindowState = xlMaximized | 'ファイルを大きくします。 |
| Sheets("収支決算書").Select | |
| Range("D4").Select | '形式を選択して貼り付け 値のみ |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _ | |
| SkipBlanks:=False, Transpose:=False | |
| Range("A1").Select | 'カーソルを定位置に |
| Application.CutCopyMode = False | |
| '転記作業その 4-3-2 | |
| ActiveWindow.WindowState = xlMinimized | 'ファイルを小さくします。 |
| Workbooks(1).Activate | '1 番目に開いたファイルをアクティブに |

| | |
|--|---------------------|
| ActiveWindow.WindowState = xlMaximized | 'ファイルを大きくします |
| Sheets("収支決算書").Select | '支出の予算 |
| Range("D12:D40").Select | |
| Selection.Copy | |
| ActiveWindow.WindowState = xlMinimized | 'ファイルを小さくします。 |
| Workbooks(2).Activate | '2番目に開いたファイルをアクティブに |
| ActiveWindow.WindowState = xlMaximized | 'ファイルを大きくします。 |
| Sheets("収支決算書").Select | |
| Range("D12").Select | |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _ | '形式を選択して貼り付け 値のみ |
| SkipBlanks:=False, Transpose:=False | |
| Range("A1").Select | 'カーソルを定位置に |
| Application.CutCopyMode = False | |
| '転記作業その5-2-1 | |
| ActiveWindow.WindowState = xlMinimized | 期首残高 |
| Workbooks(1).Activate | 'ファイルを小さくします。 |
| ActiveWindow.WindowState = xlMaximized | '1番目に開いたファイルをアクティブに |
| Sheets("期首残高").Select | 'ファイルを大きくします |
| Range("A2").Select | '年 |
| Selection.Copy | |
| ActiveWindow.WindowState = xlMinimized | 'ファイルを小さくします。 |
| Workbooks(2).Activate | '2番目に開いたファイルをアクティブに |
| ActiveWindow.WindowState = xlMaximized | 'ファイルを大きくします |
| Sheets("期首残高").Select | |
| Range("A2").Select | '形式を選択して貼り付け 値のみ |

```

Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
    SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
'転記作業その 5-2-2
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
Workbooks(1).Activate
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
Sheets("期首残高").Select
Range("I2:J36").Select
Selection.Copy
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
Workbooks(2).Activate
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
Sheets("期首残高").Select
Range("I2").Select
    Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _
        SkipBlanks:=False, Transpose:=False
Range("A1").Select
Application.CutCopyMode = False
Cells(43, 4) = " "
'転記作業その 6
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
Workbooks(1).Activate
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized

```

'カーソルを定位置に

'ファイルを小さくします。

'1 番目に開いたファイルをアクティブに

'ファイルを大きくします

'資産負債

'ファイルを小さくします。

'2 番目に開いたファイルをアクティブに

'ファイルを大きくします。

'形式を選択して貼り付け 値のみ

'カーソルを定位置に

'セル E43 に転記未転記表示 (要変更 2003/9)

元帳データ

'ファイルを小さくします。

'1 番目に開いたファイルをアクティブに

'ファイルを大きくします

| | |
|--|---------------------|
| Sheets("元帳データ").Select | '蓄えられている全データのつもりです。 |
| Range("A2:K8000").Select | |
| Selection.Copy | |
| ActiveWindow.WindowState = xlMinimized | 'ファイルを小さくします。 |
| Workbooks(2).Activate | '2番目に開いたファイルをアクティブに |
| ActiveWindow.WindowState = xlMaximized | 'ファイルを大きくします。 |
| Sheets("元帳データ").Select | |
| Range("A2").Select | '形式を選択して貼り付け 値のみ |
| Selection.PasteSpecial Paste:=xlValues, Operation:=xlNone, _ | |
| SkipBlanks:=False, Transpose:=False | |
| Range("A1").Select | 'カーソルを定位置に |
| Application.CutCopyMode = False | |
| '全作業終了 後始末。 | |
| '5枚の表を書き込み不可能(Protect)とし、非表示 (Visible = False)とします。 | |
| Sheets("ボタン表").Select | |
| ActiveSheet.Protect | |
| Sheets("設定表").Select | |
| ActiveSheet.Protect | |
| Sheets("設定表").Visible = False | |
| Sheets("残高試算表").Select | |
| ActiveSheet.Protect | |
| Sheets("残高試算表").Visible = False | |
| Sheets("収支決算書").Select | |
| ActiveSheet.Protect | |

```

Sheets("収支決算書").Visible = False
Sheets("期首残高").Select
ActiveSheet.Protect
Sheets("期首残高").Visible = False
Sheets("元帳データ").Select
Sheets("元帳データ").Visible = False
'次は元のファイルのデータです。
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
Workbooks(1).Activate
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
Sheets("設定表").Visible = False
Sheets("残高試算表").Visible = False
Sheets("収支決算書").Visible = False
Sheets("期首残高").Visible = True
Sheets("元帳データ").Visible = False
ActiveWindow.WindowState = xlMinimized
Workbooks(2).Activate
ActiveWindow.WindowState = xlMaximized
Sheets("ボタン表").Select
Range("A1").Select
MsgBox "作業が終了しました。ファイルの保存はしていませんので確認の上保存してください。
End If
End If
End Sub

```

'今開いているファイルを小さくします。
'1 番目に開いたファイルをアクティブに
'そのファイルを大きくします。

'ファイルを小さくします。
'2 番目に開いたファイルをアクティブに
'ファイルを大きくします。